

*本冊子に掲載している内容は、
一部変更となる場合があります。

内容解説資料
地図-702

「教科書発行者行動規範」
に則っております。

文部科学省検定済教科書
高等学校地理歴史科用

46
帝国 地図-702

新詳高等地図

帝国書院編集部編



新しくて、詳しい！

高等学校地図帳の決定版

はじめに.....	2	QRコンテンツ.....	60
地図帳の3つの特色.....	4	指導資料・関連教材.....	62
特色1 地域の特色を深く理解できる！.....	6	「新詳高等地図」全体構成.....	63
特色2 地図や資料から考察できる！.....	26	特色一覧/著作者.....	裏表紙
特色3 新しい地図で学びが広がる！.....	46		

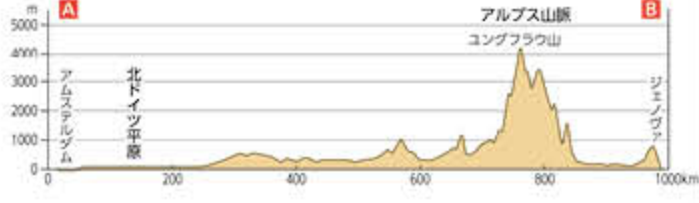
地歴科・公民科の学びを 地図帳がしっかりサポート！

1 ヨーロッパの鳥瞰図

おもな都市の標高

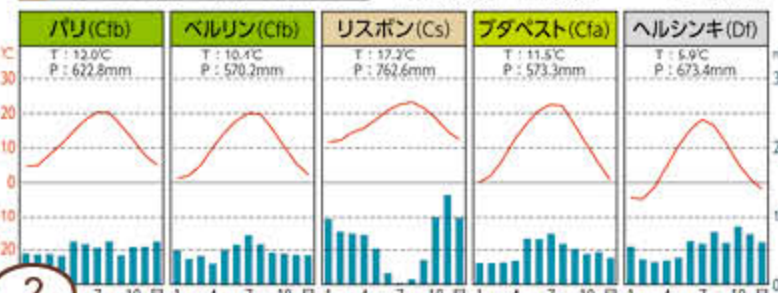


2 p.45-46 A-B間の断面図



読図 ①・②図から、ヨーロッパの地形は、アルプス山脈とその北側でそれぞれどのような特徴があるかを読み取ろう。また、p.194の図で大陸の区分を確認しよう。

3 おもな都市の気温と降水量



2

① フィヨルド(ノルウェー) 氷河が削ったU字谷に海水が浸入した、奥深い入り江である。



地形

② ぶどうの収穫(フランス) 水はけのよい丘陵の斜面で栽培されることが多い。おもにワインの原料となる。



生活

3

③ 高潮で浸水したヴェネツィア(イタリア) 低地のため、低気圧や風などの影響で高潮被害にあいやすい。



災害

新しくて、詳しい！

高等学校地図帳の決定版



新詳高等地図

令和4(2022)年度発刊
地図-702
AB判 194ページ

■ 関連教材のラインアップ

- 指導資料—
「新詳高等地図 指導資料」
- デジタル教科書—
「学習者用デジタル教科書」
- 関連する地図帳・教科書—
「標準高等地図」
「高等学校 新地理総合」
「高校生の地理総合」
「新詳地理探究」
「明解 歴史総合」
「新詳 世界史探究」
「高等学校 公共」

本冊子
参照ページ p.62

4

特色 1

地域の特色を深く理解できる！

- 基礎から発展まで 対応できる充実の**地域地図と資料**
- 地域の特色が一目 でわかる**地図表現**

本冊子
参照ページ
p.6-25

特色 2

地図や資料から考察できる！

- 地図の読み取りポイントがわかる **「読図」**
- 比較・関連させて 考察できる**地域別資料**
- 地域の特色や課題 を探究できる **「Focus」**
- 新課程地理の学び をサポートする**テーマ資料**

本冊子
参照ページ
p.26-45

特色 3

新しい地図で学びが広がる！

- 地域の地形や生活 がイメージできる**世界鳥瞰図**
- 防災学習にも役立つ**詳細な等高段彩図**

本冊子
参照ページ
p.46-59

5

地域の特色を深く理解 できる！

● 世界地図単元の流れ



● 基礎から発展まで対応できる充実の地域地図と資料 ~ヨーロッパ単元を例に~



基本図

土地の高さを表現した等高段彩表現の地図で、地域の基礎的情報を確認できる。

▲地図帳
p.45-46



拡大図

土地利用や植生を表現した地図と工業記号で、地域の産業などを確認できる。

▲地図帳
p.49-50



拡大図 (詳細拡大図)

大都市が集中するヨーロッパとアメリカ合衆国の主要部には、詳細拡大図も用意。

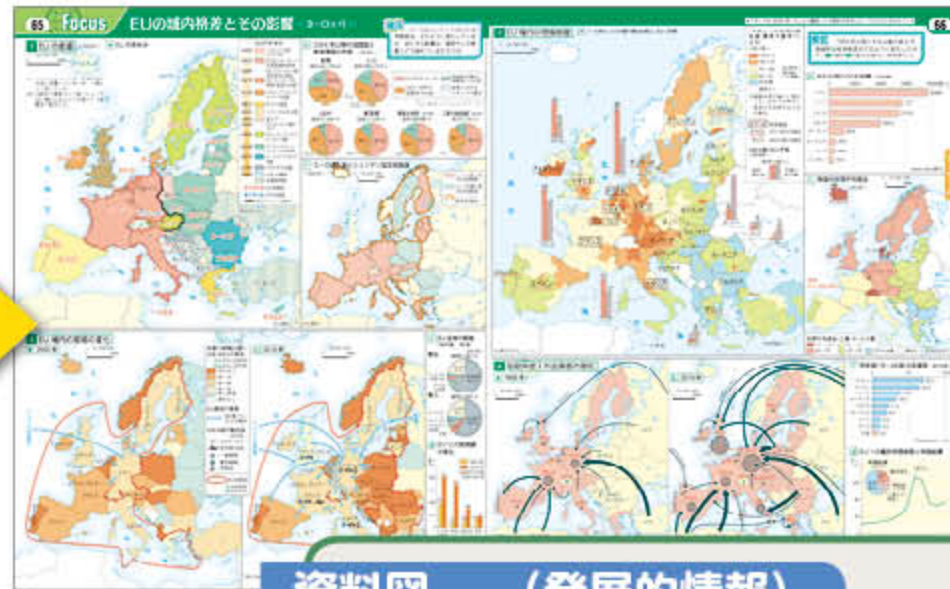
▲地図帳
p.51-52



資料図 (基礎的情報)

地域の自然環境、民族、産業などの基礎的情報を把握できる豊富な資料を用意。

▲地図帳
p.63-64



資料図 (発展的情報)

地域の特色や課題を探究できる特集ページを各地域に用意。→本冊子 p.32-33

▲地図帳
p.65-66

● ヨーロッパ単元の配列

1	p.45-46	ヨーロッパ
2	p.47-48	ヨーロッパの鳥瞰図
3	p.49-50	ヨーロッパ中央部
4	p.51-52	EU要部
5	p.53-54	地中海地方
6	p.55-56	イベリア半島、スイス
7	p.57-58	イタリア半島・バルカン半島
8	p.59-60	イギリス・アイルランド、スカンディナヴィア半島
9	p.61-62	ロンドン、パリ、ベルリン、ヨーロッパ資料図
10	p.63-64	ヨーロッパ資料図
11	p.65-66	Focus ヨーロッパ

黄色で示したページは、本冊子 p.8-17 にて原寸で掲載！

地域の特色を深く理解 できる！

地図帳 p.45-46

● 世界地図単元の流れ

基本図

拡大図

資料図

・ヨーロッパの範囲や緯度の高さ、土地の起伏が読み取れる。

45

① 第一次世界大戦前 (1914年)



② 第一次世界大戦後 (1938年)



③ 第二次世界大戦後 (1949年)



2 ヨーロッパの国境の変遷

1:60,000,000

1000km

説明 ヨーロッパの国々は、およそ緯度何度から何度の間に位置しているだろうか。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

国境変遷の地図で、ヨーロッパの近現代史の理解をサポート。



1 ヨーロッパ

1:16,000,000

0 100 200 300 400km

正距円錐図法



EU加盟国
北海の境界
① 経済的資源を管理する権利などに関する国際的な境界。

同緯度・同縮尺の日本と比較して、ヨーロッパが高緯度に位置していることを理解できる。

*このマークが入っているページは、地図帳本体と同じ縮率(原寸)で掲載しています。
*Newが入っているページは令和4年度以降版からの新規ページです。

原寸大

46

ヨーロッパ

地域の特色を深く理解 できる!

地図帳 p.49-50

基本図

拡大図

資料図

・ヨーロッパ中央部の工業や農業の様子を読み取れる。

1 ヨーロッパ中央部

1:5 200 000
0 50 100km
正距円錐図法
(経緯と標準緯線にそって距離が正しい。全長として70%が縮小される。)



土地利用と植生

- 耕作地
- 草地・牧草地
- 森林・その他

陸高と水深 (m)

- 3000m
- 2000
- 1000
- 500
- 0
- 200
- 1000
- 2000m

おもな工業

- 石油精製
- 航空機
- 化学
- 電子機器
- 鉄鋼
- 機械
- 自動車
- 繊維
- 造船
- 食品

ヨーロッパでは、大河川が多くの運河で結ばれていることがわかる。

ポー川流域に稲作地があることを読み取れる。

原寸大

地域の特色を深く理解 できる！

地図帳 p.51-52

● 世界地図単元の流れ

基本図

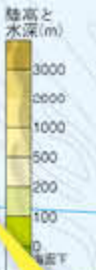
拡大図

資料図

・ライン川周辺の工業の集中、EUの機関の場所を確認できる。

51 1 EU 要部
1:2 800 000
正距円筒図法

- 石油精製 航空機
- 化学 電子機器
- 鉄鋼 機械
- 自動車 繊維
- 造船 食品
- EUのおもな機関



EUのおもな機関の場所を、凡例で確認できる。

大型船が航行できるライン川中流域に、重工業都市が集中していることを読み取れる。

アルザスやロレーヌなど、歴史の舞台も確認しやすい。

原寸大

52

ヨーロッパ

地域の特色を深く理解 できる!

地図帳 p.65-66

世界地図単元の流れ

基本図

拡大図

資料図

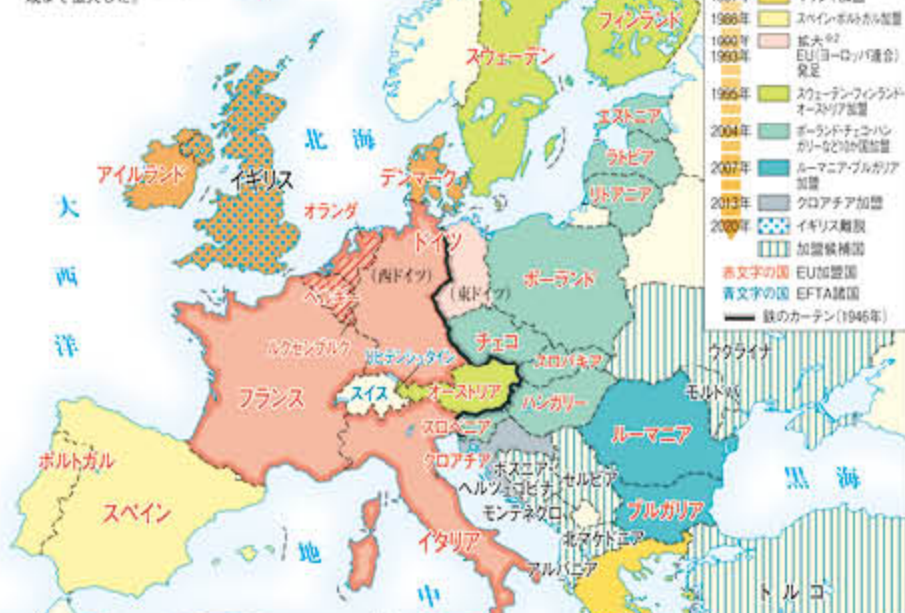
・EU 域内の地域差やその変化がわかる資料から課題を探究できる。

65 Focus EUの域内格差とその影響ーヨーロッパー

1 EUの変遷 2023年



※1 キプロスについては、北部地域は正式に加盟していないが、一国として扱っている。
※2 1990年の東西ドイツ統一によって、EC(現EU)はかつての東ドイツ地域まで拡大した。



同縮尺の新旧の地図比較で、域内貿易の変化を読み取れる。

2 EU域内の貿易の変化

a 2000年



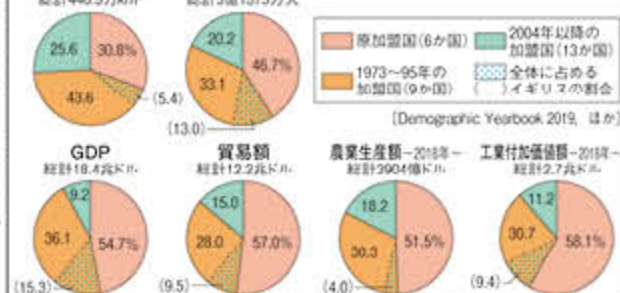
b 2018年



16

3 EU域内の地域格差

a 1人あたりの域内総生産とEU予算

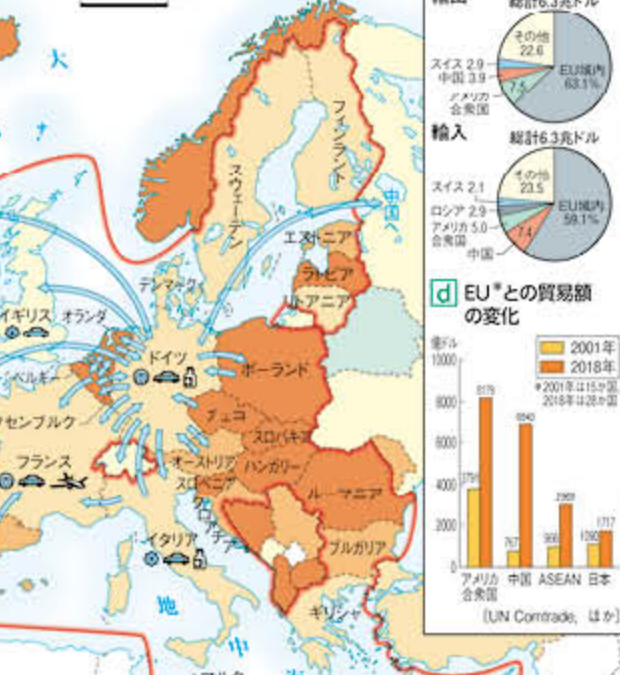


c ユーロ導入国とシェンゲン協定実施国



4 在留外国人の出身国の変化

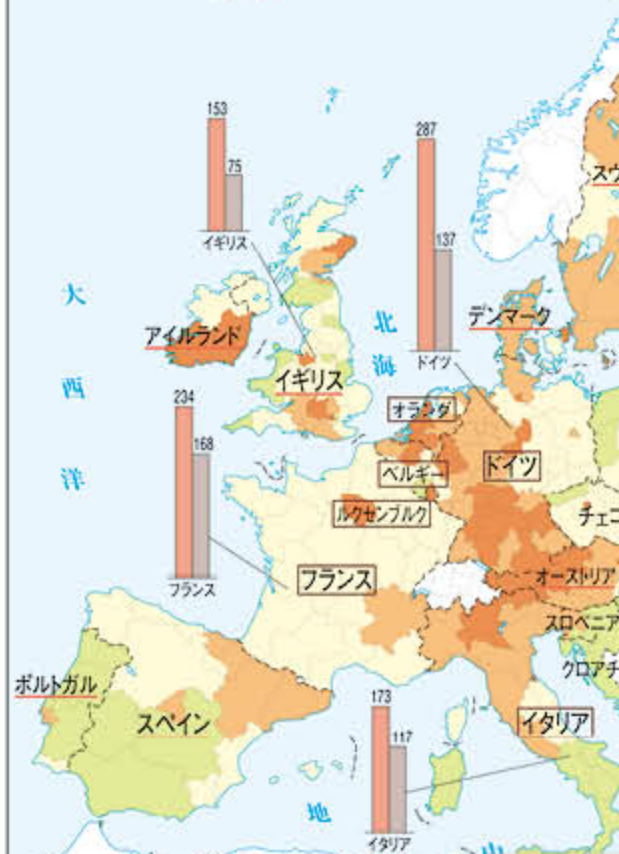
a 1995年



17

3 EU域内の地域格差

a 1人あたりの域内総生産とEU予算



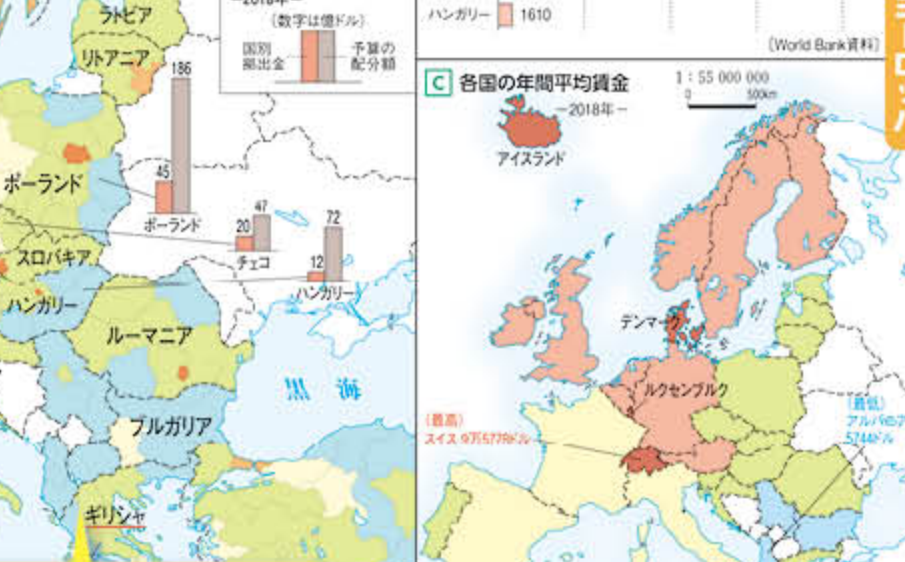
4 在留外国人の出身国の変化

a 1995年



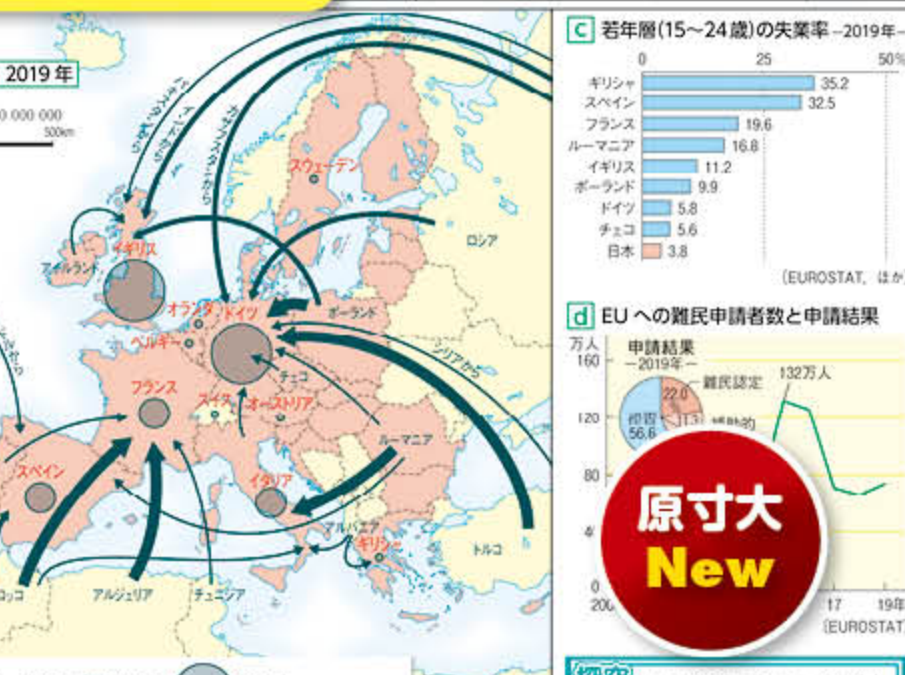
17

地方別の統計地図から、南北格差、東西格差を読み取れる。



4 在留外国人の出身国の変化

b 2019年



17

原寸大 New

探究 EUの拡大によって、貿易や人の移動はどのように変化しただろうか。

地域の特色を深く理解 できる！

● 地域の特色が一目でわかる地図表現

- ・拡大図では、地域の特色がわかる土地利用・植生表現を採用。
- ・地図帳全体を通して、発色の良さ、文字の見やすさを追求。

▼地図帳 p.33-34



こだわり① 鮮やかな5色印刷

- ▶ 稲作地や畑作地などが鮮やかに見える「フサ色（緑色）」をはじめとした特製の5色インキで印刷。

A 土地利用がよくわかる地図表現

- ▶ 地域の基本図は等高段彩表現、地域の拡大図は土地利用・植生表現を採用。
- ▶ 農業がさかんな地域では、畑作地と稲作地のように、土地利用の違いが一目でわかる。



原寸大 本冊子 p.22-23

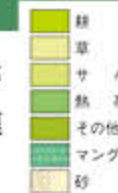


▲地図帳 p.41-42

▶平成29年度版『新詳高等地図』p.38

B 植生がよくわかる地図表現

- ▶ アフリカや南アメリカの拡大図では、熱帯林やサバナ、砂漠など地域による植生の違いが一目でわかる。



原寸大

◀地図帳 p.42

こだわり② フォントの工夫

- ▶ 国名と首都名に新しくユニバーサルデザインフォントを採用。見やすさが一層向上。
- ▶ 長いカタカナ地名も読みやすい独自フォントを使用。

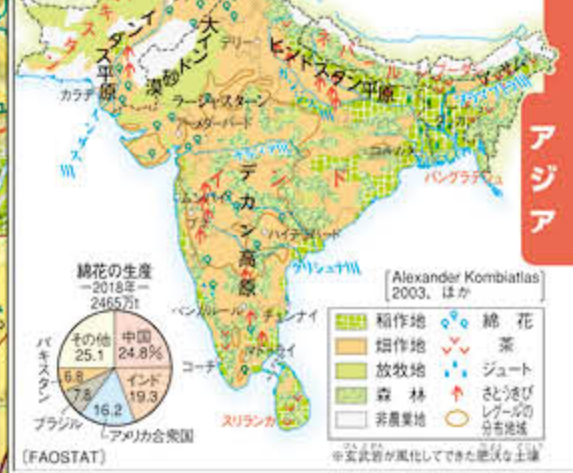
地図帳 p.33-34



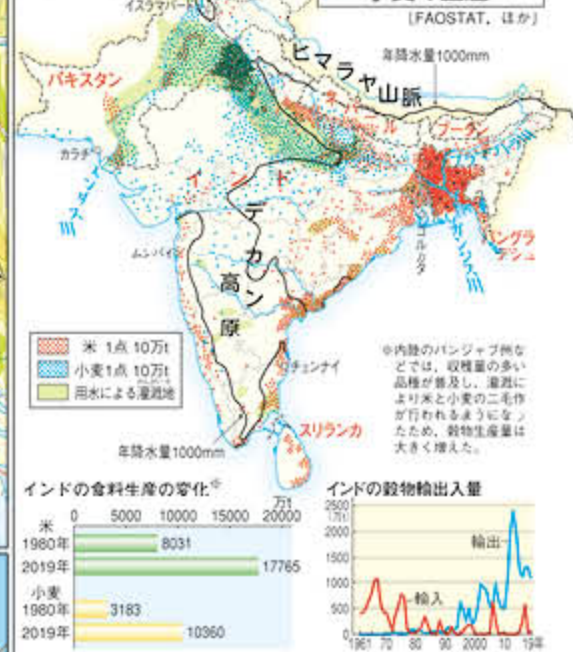
33

34

3 南アジアの農業



4 南アジアの米と小麦の生産



デカン高原は畑作中心、西ガーツ山脈の西側は稲作中心であることを読み取れる。

1 インド要部
1 : 8 500 000
0 100 200km
正角円錐図法 (全身としてひびきが小さい)

読図 稲作地はどのようなところに広がっているだろうか。(4回も参考に読み取る)

土地利用と植生	標高と水深 (m)	おもな工業
稲作地	6000m	鉄鋼 自動車
畑作地	5000	造船 航空機
マングローブ	4000	電気機械 化学
砂漠	3000	石油精製 繊維
	2000	食品 医薬品
	1000	ソフトウェア
	500	テクノロジーパーク
	200	

2 インド南部・スリランカ
1 : 8 500 000
0 100 200km
正角円錐図法 (全身としてひびきが小さい)



原寸大

地図帳 p.41-42

41

1 アフリカ北部

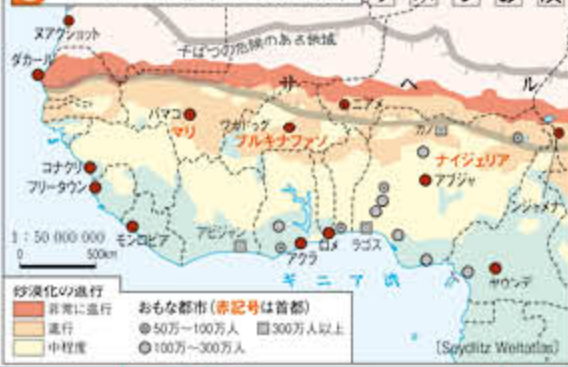
1 : 21 000 000
0 200 400 600km
ランベルト正積方位図法
(経緯が正しく、全体としてひびきがない。)



砂漠は北回帰線付近に分布していること、砂漠にはワジが多いことを読み取れる。

耕地が広がっている地域は、どのような気候だろうか、p.141 ①図と比較して読み取ろう。

2 サヘルの砂漠化と人口集中



熱帯林は赤道付近のコンゴ盆地を中心に広がっていることを読み取れる。

22

42

アフリカ

原寸大

23

地図帳 p.93-94



熱帯林の地域に畑作地が蚕食している様子を読み取れる。

パンパの東西での土地利用の違いを読み取れる。

土地利用と植生

畑作地
熱帯林
サバナ
その他の森林
マングロブ
砂漠
草地

陸高と水深(m)

標高・その他	水深
0	0
200	1000
1000	2000
2000	3000
3000	4000
4000	5000
5000	6000
6000	8000
8000	

おもな工業

鉄	鋼	織	縫
金	銅	木	林
機	械	電	子
石	油	精	製
化	学	自	動
		車	
		航	空
		機	

読図 アマゾン川を河口から上流にたどり、可航上流周辺にある都市を各えよ。また、アマゾン川の長さや流域の熱帯林の広がりをも p.105 の図と同縮尺の日本と比較してみよう。



原寸大

1 南アメリカ要部
1:16,000,000
0 100 200 300km
ランベルト正積方位図法
(国境が正確に、全体としてわずかに小さい。)

高級住宅地 商業地 その他 ファベール(スラム) オリンピックやワールドカップの
中核部 工業地 地下鉄 買物の繁華するファベール おもな競技場
森林・公園 市境 美しい人々の保護施設 国立公園

● 地図の読み取りポイントがわかる「読図」

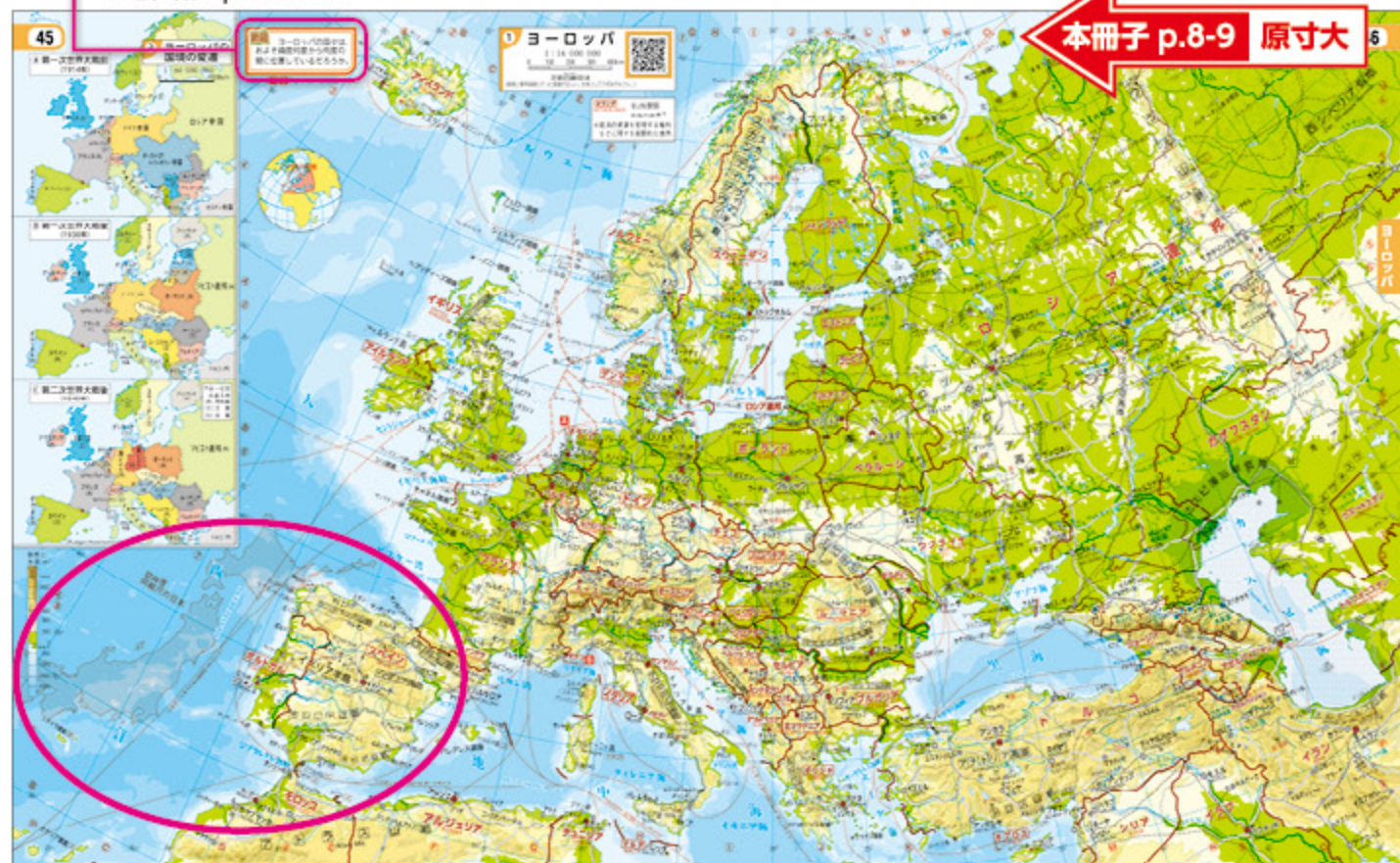
- ・ 地図を通して社会的事象を読み取る作業を完全サポート。
- ・ 位置や土地利用の分布などの地理的見方・考え方を働かせる読図の問いを掲載。
- ・ 解答は、地図帳 p.3 に掲載の QR コードでアクセスできるウェブサイト収録。

読図 ヨーロッパの国々は、およそ緯度何度から何度間に位置しているだろうか。

ヨーロッパの国々が、日本に比べると高緯度に位置していることを、同緯度・同縮尺の日本などと比較しながら読み取る作業を促す。



▲同緯度・同縮尺の日本



本冊子 p.8-9 原寸大

本冊子 p.22-23 原寸大



読図 耕地が広がっている地域は、どのような気候だろうか。p.141 ①図と比較して読み取ろう。

アフリカではサバナ気候の地域に耕地が多いことを、気候の主題図と比較して読み取る作業を促す。

読図 稲作地はどのようなところに広がっているだろうか。④図も参考に読み取ろう。

稲作地と畑作地の分布の違いを、④図の年降水量と関連させて読み取る作業を促す。

本冊子 p.20-21 原寸大



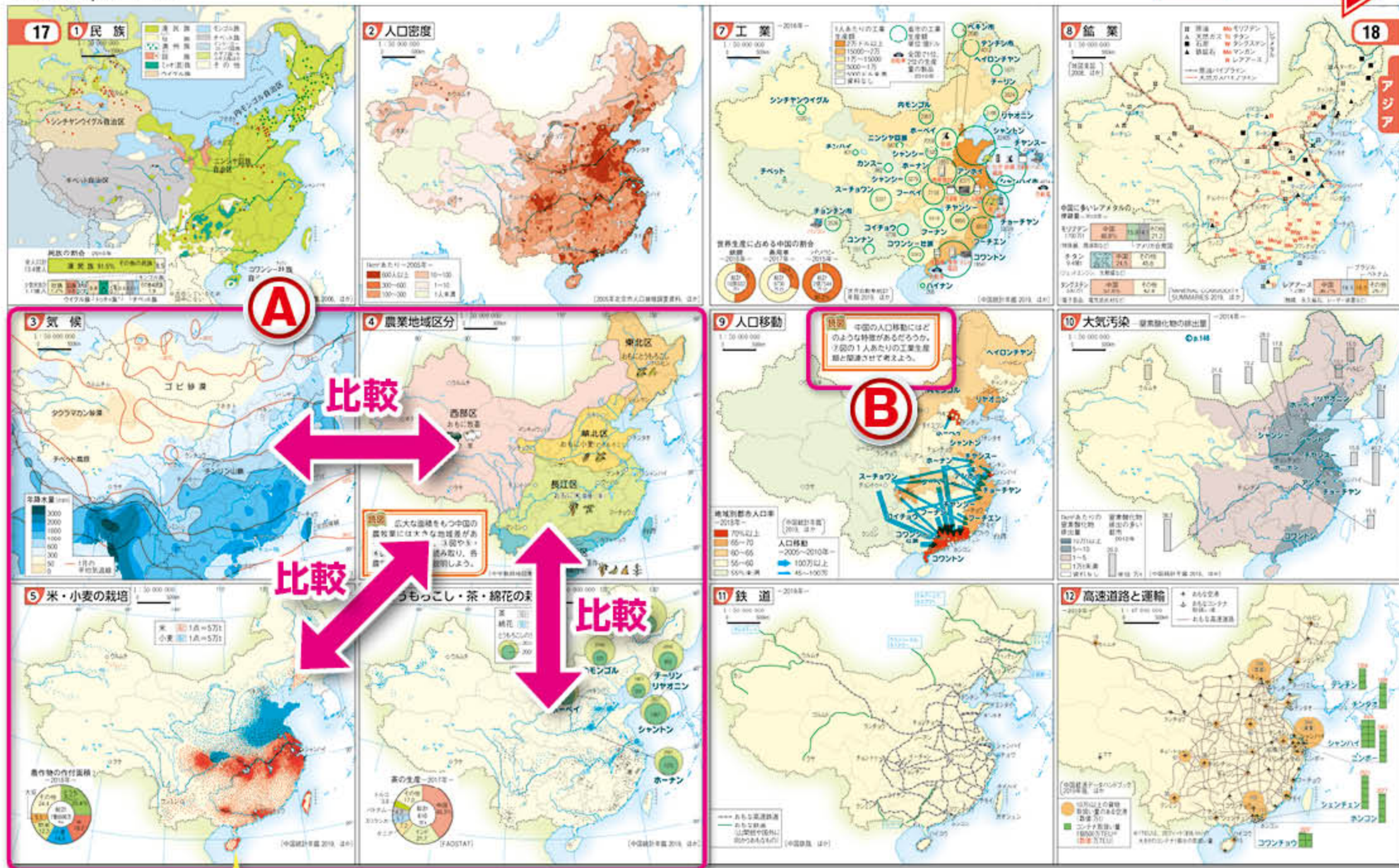
インド亜部

インド南部・スリランカ

● 比較・関連させて考察できる地域別資料

- ・世界各地の自然環境や歴史・民族、産業などの基礎的情報を豊富に掲載。
- ・同縮尺の主題図を比較しながら地域の特徴を理解できる。

▼地図帳 p.17-18



降水量と農業の資料図を比較することで、牧畜、畑作、稲作の中心地と降水量が関係していることを読み取れる。

A 同縮尺の地図で比較しやすい

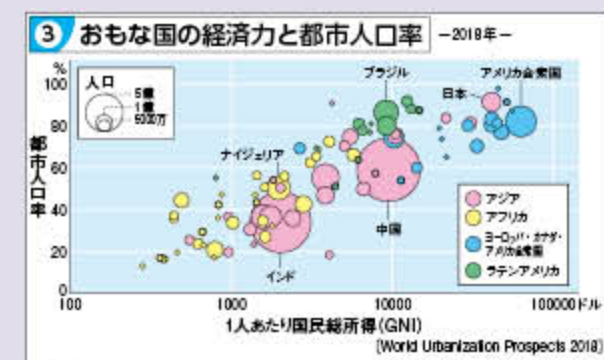
▶気候と農業、工業と人口移動など、要素を比較・関連させながら考察できるよう、主題図を同縮尺で並べて掲載。

B 読図を丁寧にサポート

▶資料図を扱うページでも、地図やグラフなどの資料の読み取りポイントがわかる「読図」コーナーを設置。

● 思考力を高める新しい表現のグラフも掲載

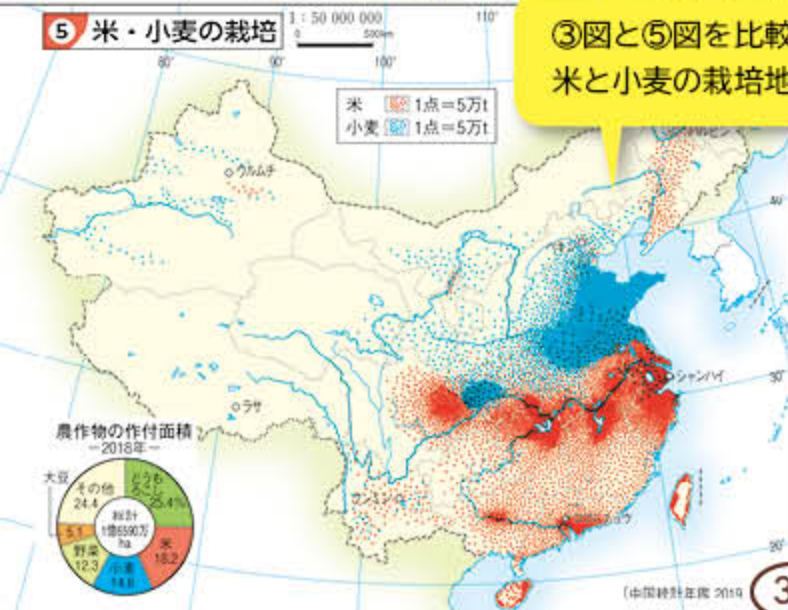
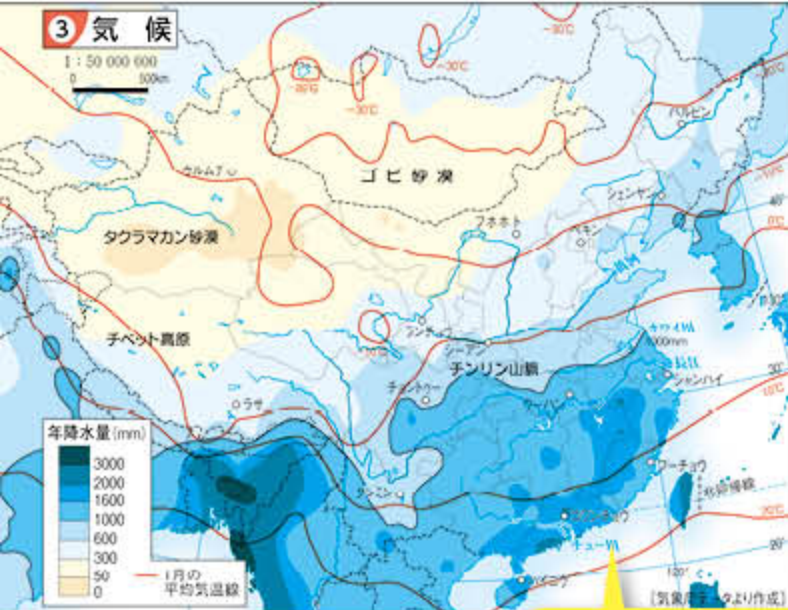
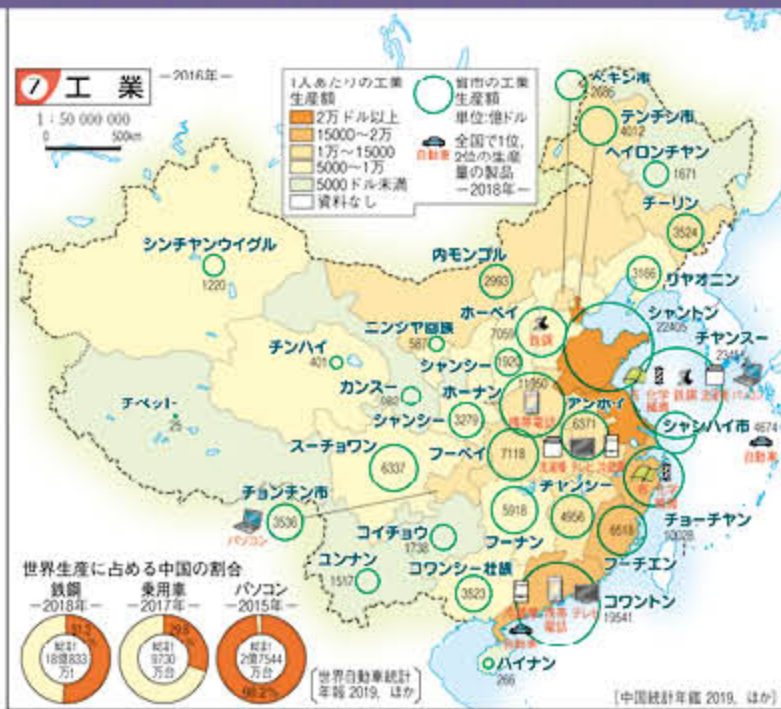
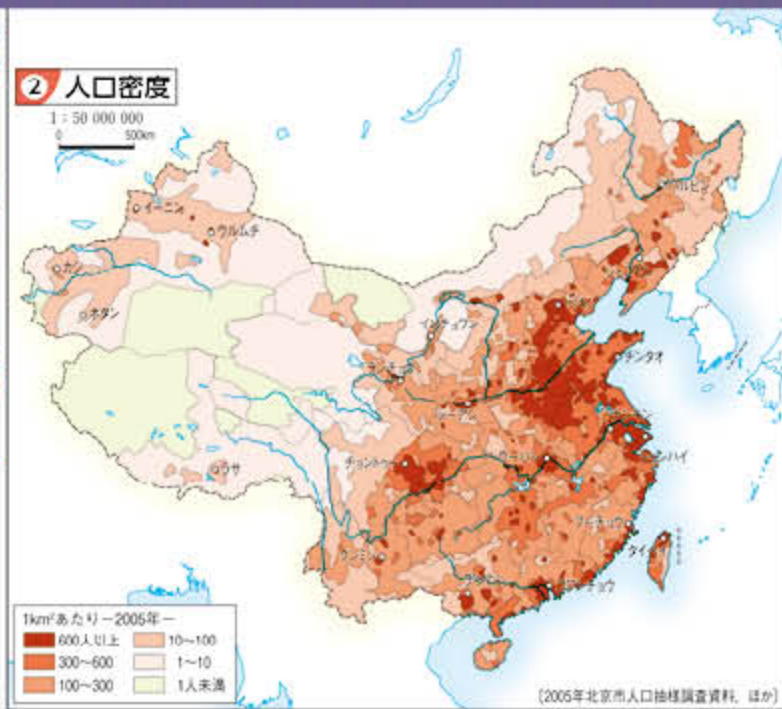
- ・共通テスト試行調査でも登場したバブルチャート図を掲載。
- ・読み解きのヒントを問いの形で掲載。



SDGs ③図で1人あたりのGNIに対して、都市人口率が高い地域はどこだろう。また、この地域の都市では、居住環境にどのような課題があるだろうか。p.89③図やp.94③図を参考に考えよう。

▲地図帳 p.151

地図帳 p.17-18

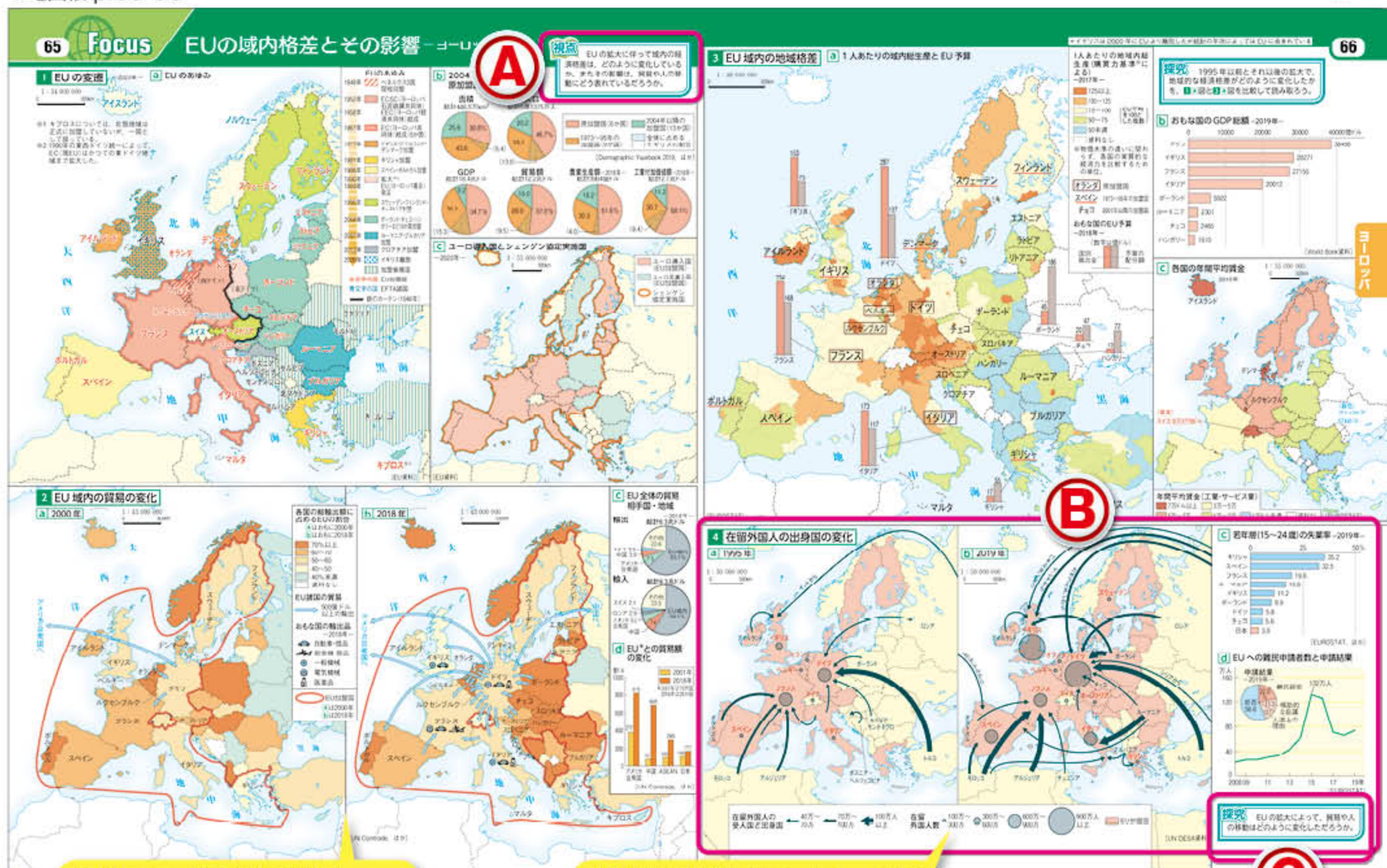


● 地域の特徴や課題を探究できる「Focus」

- ・ 地域の特徴や課題に対して主題を設定し、探究できる特設コーナーを設置。
- ・ 中国、ヨーロッパなど8地域に設置。どの地域でも主題を探究できる。

原寸大 本冊子 p.16-17

▼地図帳 p.65-66



新旧比較で、域内貿易の拡大と東欧のEU依存度の高さを読み取れる。

新旧比較の地図とグラフから、EUの移民・難民という課題を考察できる。

● 「Focus」一覧

1	p.20	中国	進む経済成長と世界に与える影響
2	p.29	東南アジア	経済成長の共通性と相違性
3	p.30	インド	成長する産業とその分布
4	p.44	アフリカ	経済発展の課題と新興市場としての期待
5	p.65-66	ヨーロッパ	EUの域内格差とその影響
6	p.87-88	アメリカ合衆国	産業構造の転換とその影響
7	p.95	南アメリカ	アマソンの熱帯林の減少
8	p.103	オセアニア	太平洋の環境問題

「A」 探究の視点を提示した「視点」

▶ どのような主題で探究していくのかを「視点」コーナーで最初に明示。探究学習の指針となる。

「B」 地域が抱える課題も見てくる構成

- ▶ 地域が抱える様々な課題をテーマとして取り上げ、資料から考察できるようにしている。
- ▶ 新旧比較や地域間格差の比較ができる資料図も多数掲載。

「C」 考察の流れがわかる「探究」

▶ それぞれの資料からどのようなことを考察すべきか問いの形で示した「探究」コーナーを設置。

地図帳 p.87-88

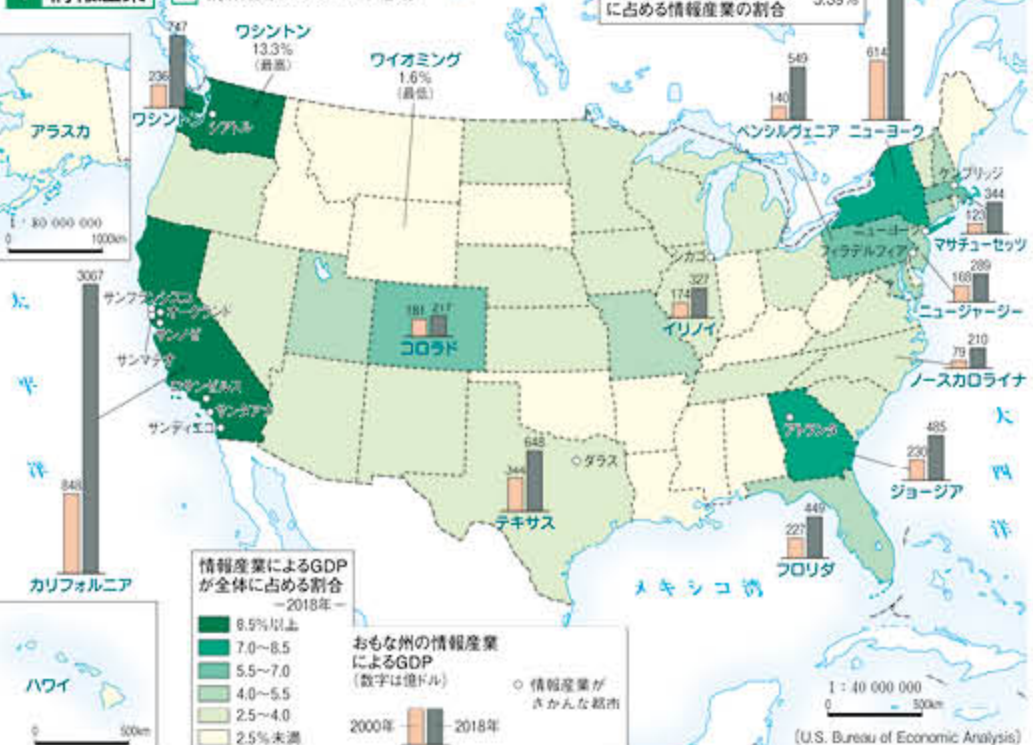
Focus

産業構造の転換とその影響 - アメリカ合衆国 -

1 情報産業

a 情報産業のさかんな地域

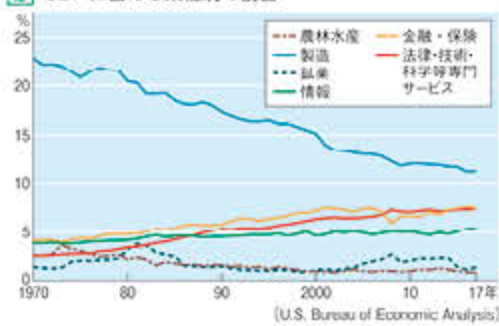
アメリカ合衆国全体のGDPに占める情報産業の割合 5.39%



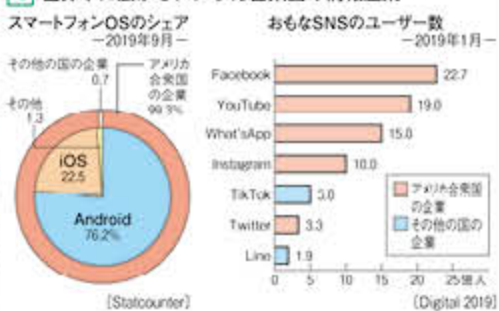
視点

アメリカ合衆国では、産業構造がどのように転換しているだろうか。この変化は、貿易や資金にどのような影響をもたらしているだろうか。

b GDPに占める業種別の割合



c 世界中に広がるアメリカ合衆国の情報産業



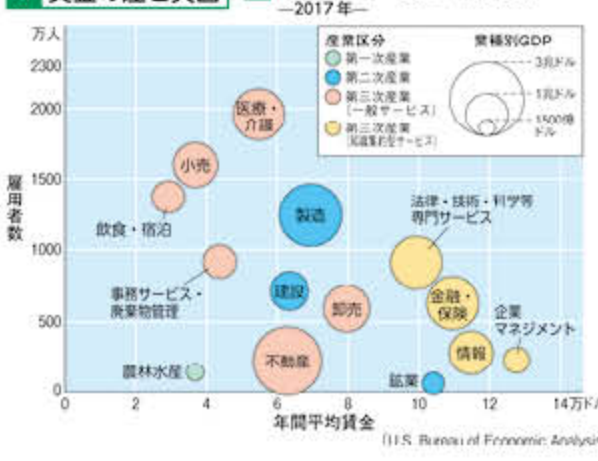
2 先端産業

a 先端産業の分布

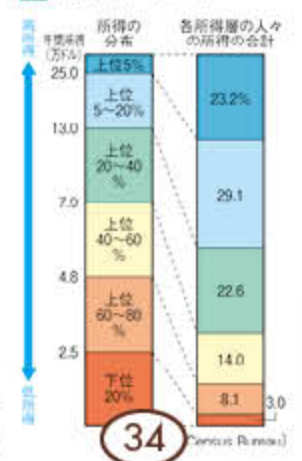


地図やグラフから、アメリカ合衆国の成長産業と格差の問題を考察できる。

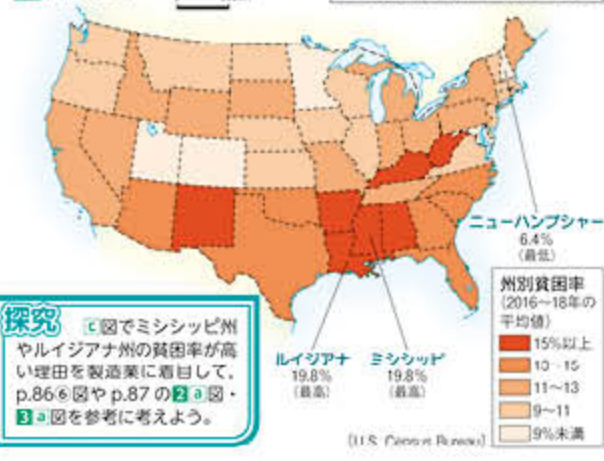
3 賃金の差と貧困



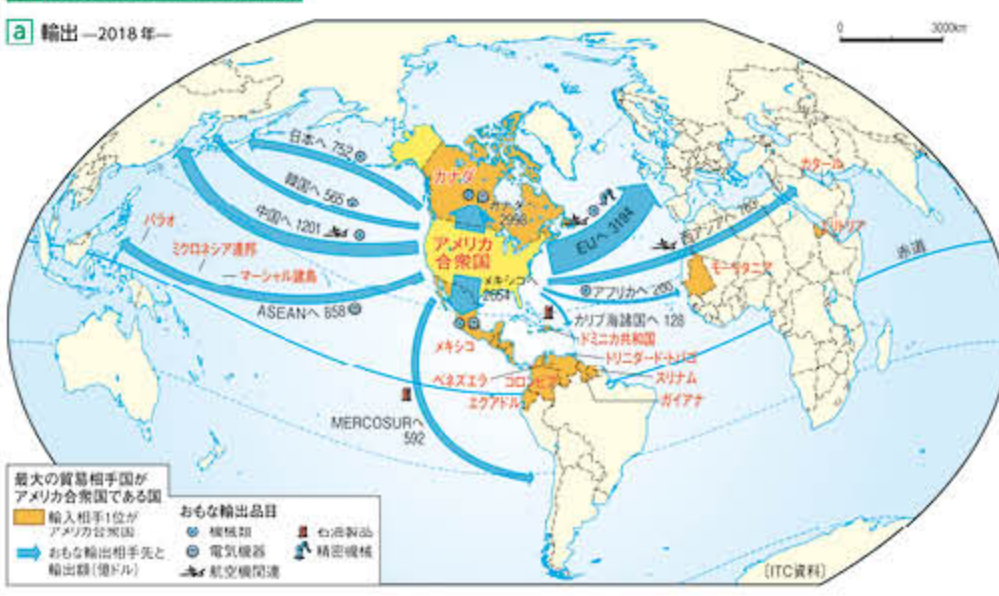
b 所得分布 - 2017年 -



c 州別貧困率

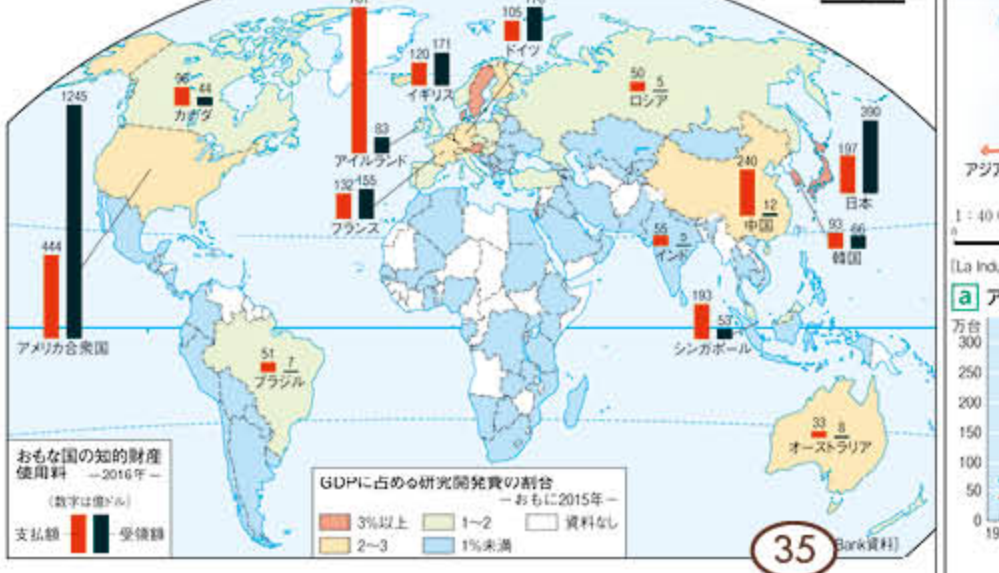


4 アメリカ合衆国の貿易

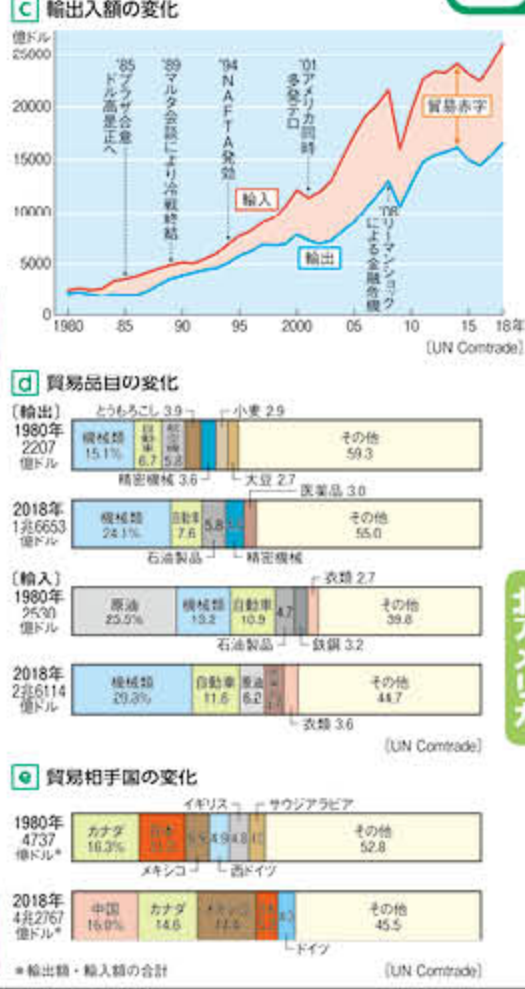


アメリカ合衆国の輸出と輸入の不均衡性を地図やグラフから考察できる。

5 知的財産と研究開発



88



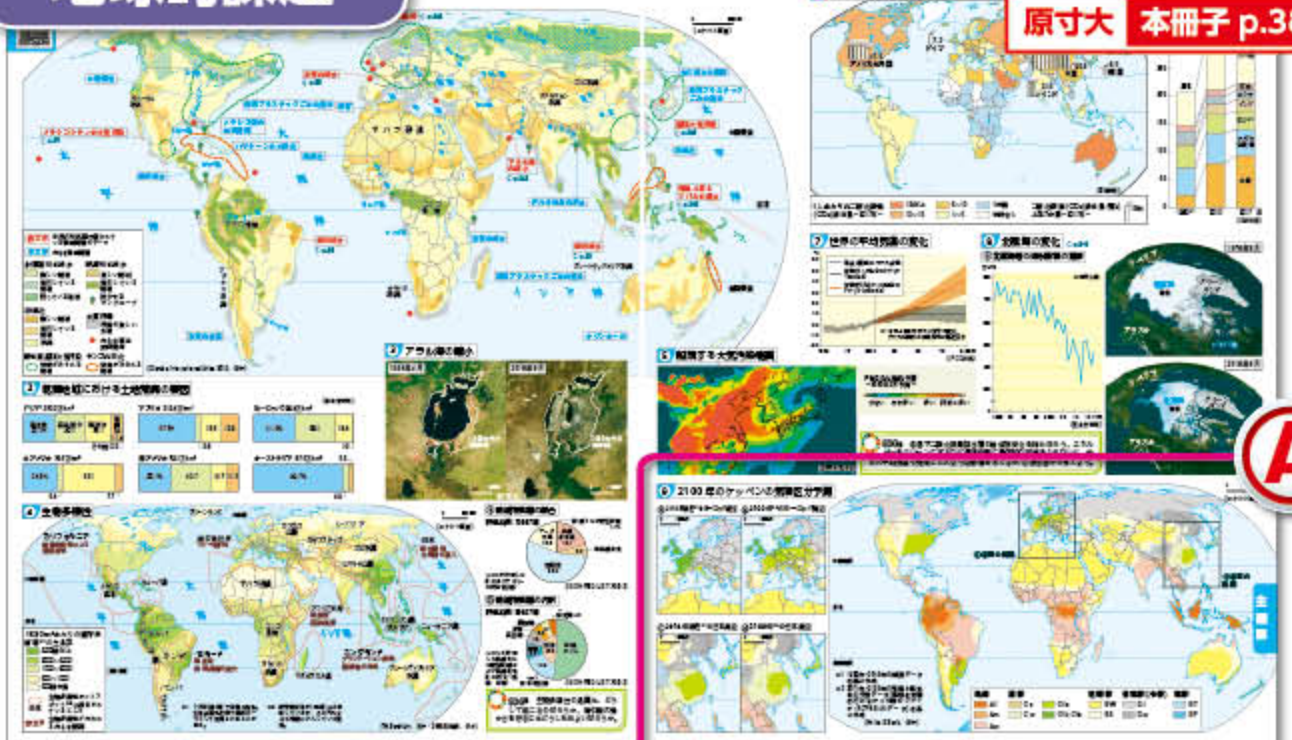
● 新課程地理の学びをサポートするテーマ資料

・地理総合で重視される地球的課題や防災，GIS，地理探究で新設された持続可能な国土像の学びを深める資料が巻末に充実。

地球的課題

▼地図帳 p.145-146

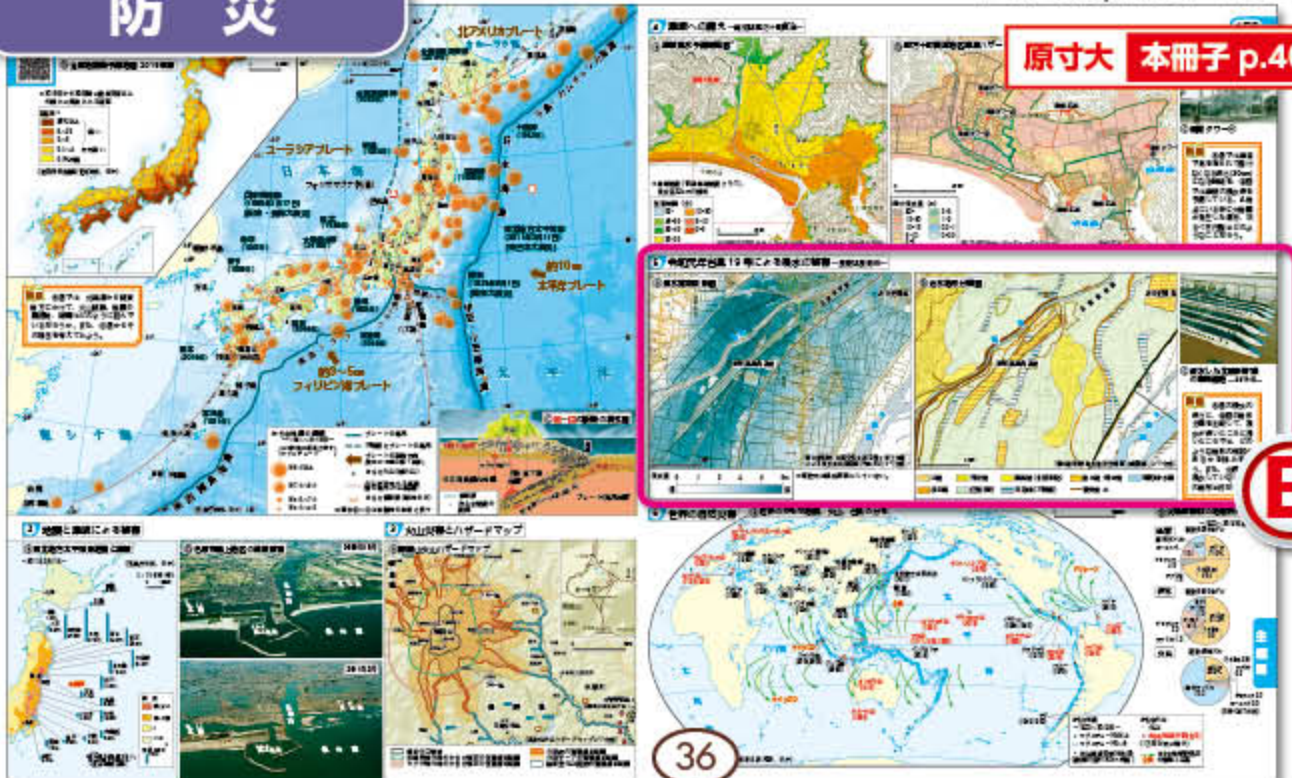
原寸大 本冊子 p.38-39



防災

▼地図帳 p.157-158

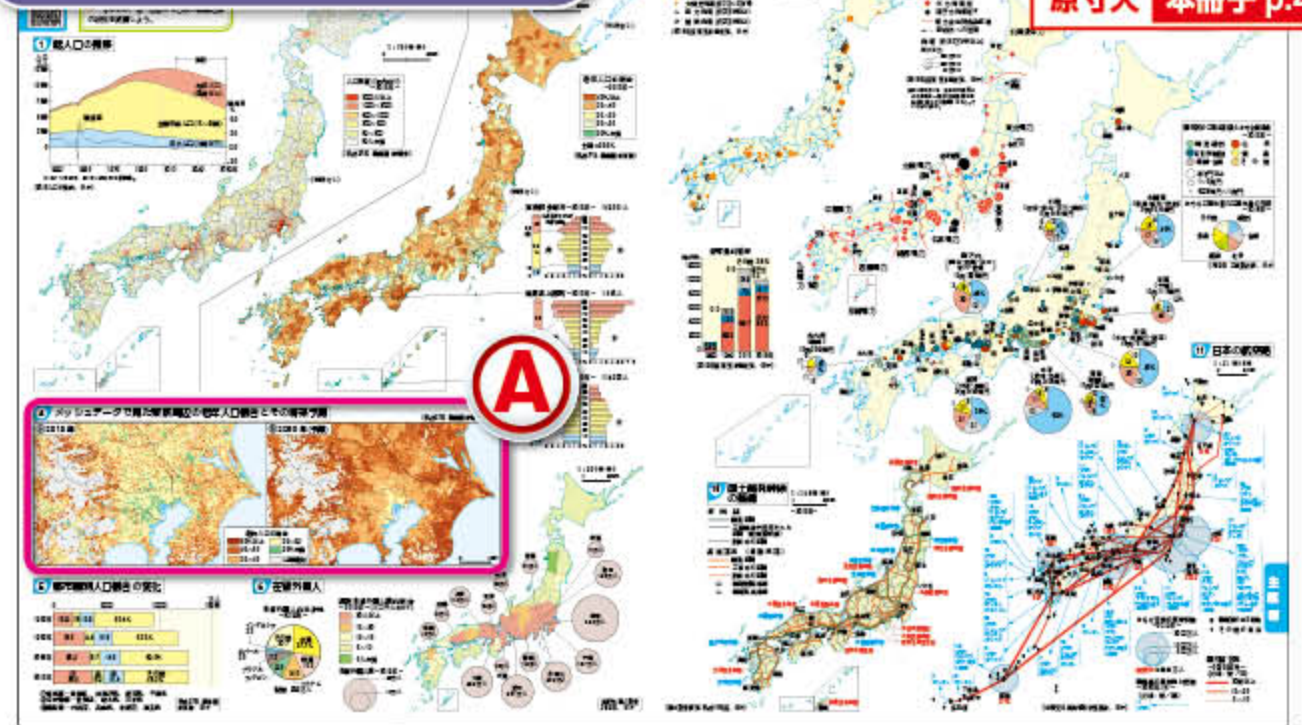
原寸大 本冊子 p.40-41



持続可能な国土像

▼地図帳 p.159-160

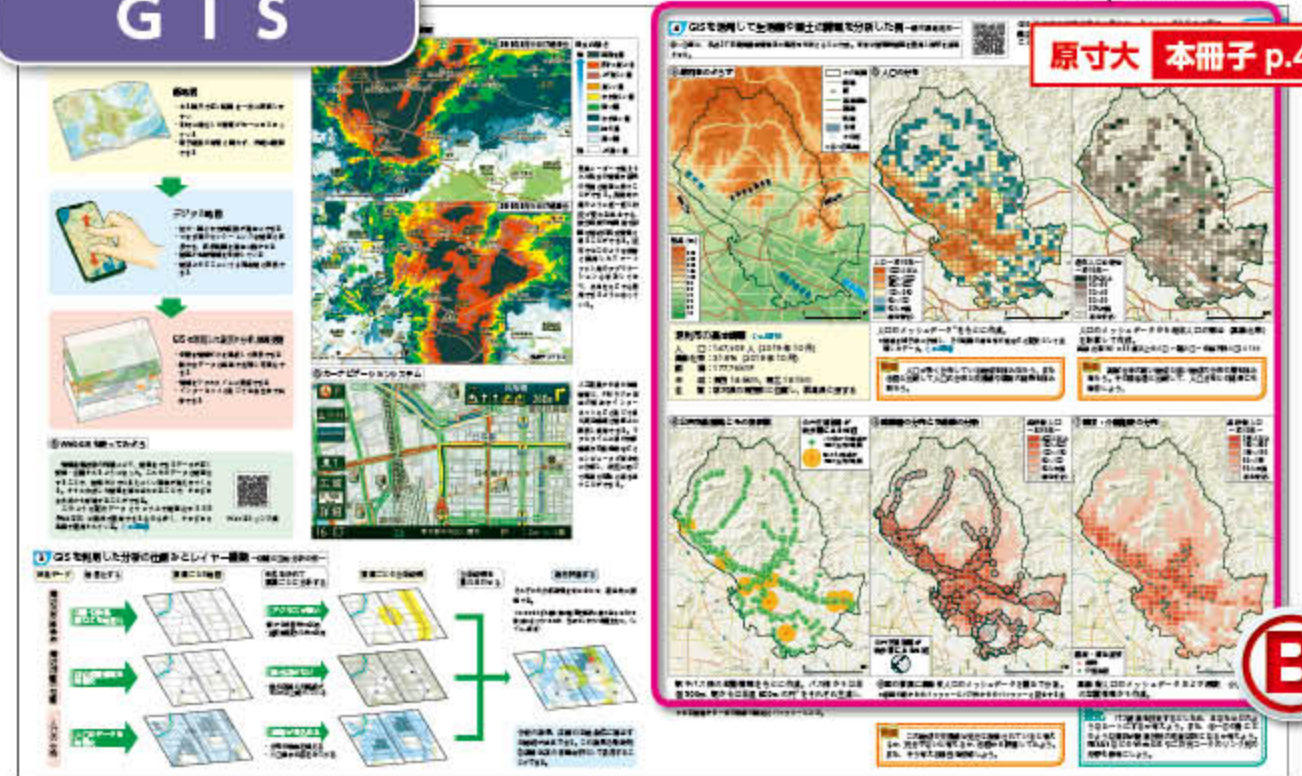
原寸大 本冊子 p.42-43



GIS

▼地図帳 p.161-162

原寸大 本冊子 p.44-45



A 将来予測データを掲載

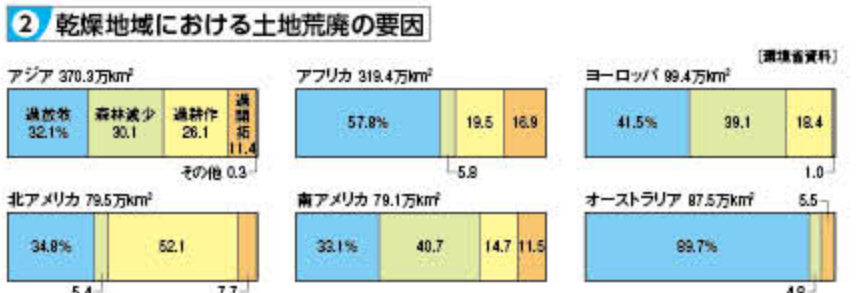
▶ 持続可能な社会を考える材料として、将来予測データを掲載。

B 異なる要素を地図で比較

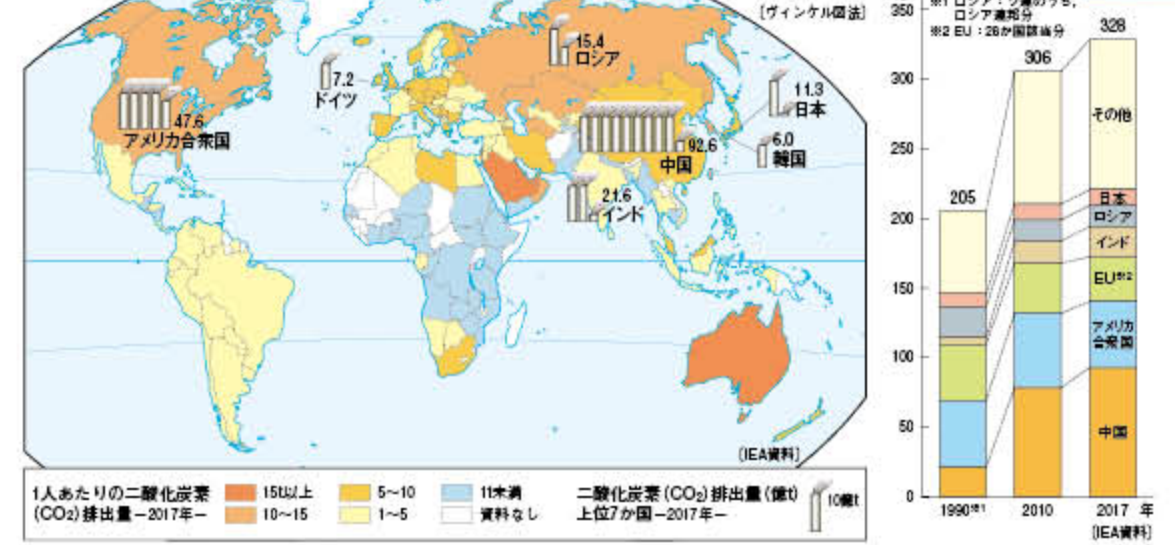
▶ 複数の地図を比較することで、関連を考察することができる。

145 環境問題

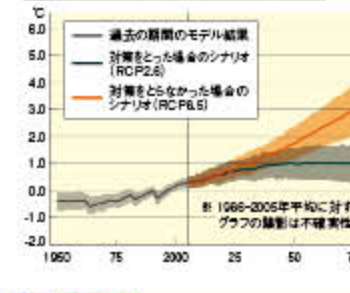
1 おもな環境問題



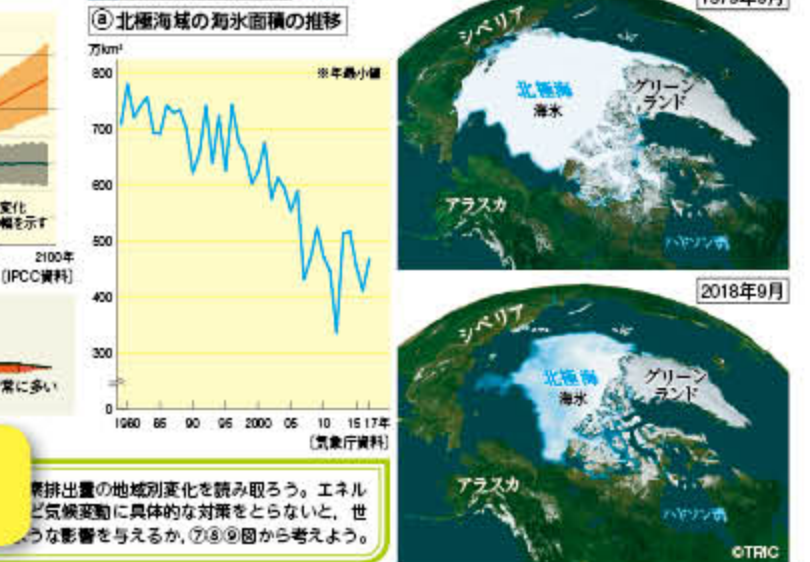
6 二酸化炭素(CO₂)の排出



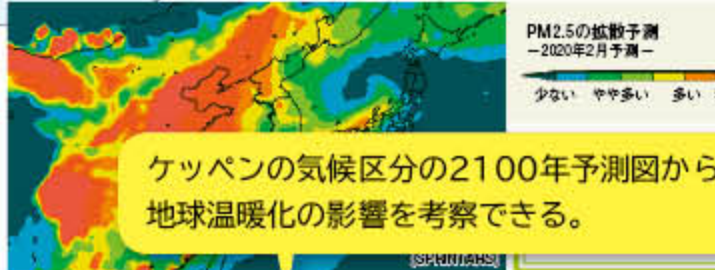
7 世界の平均気温の変化



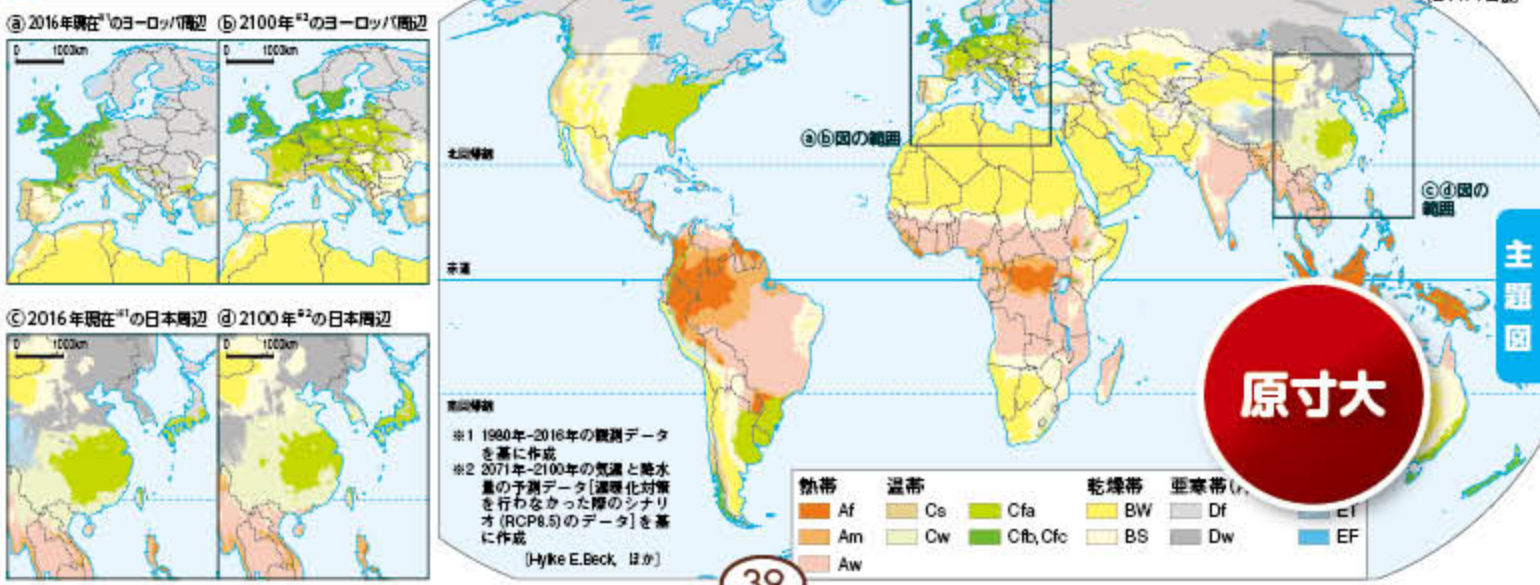
8 北極海の変化



5 越境する大気汚染物質



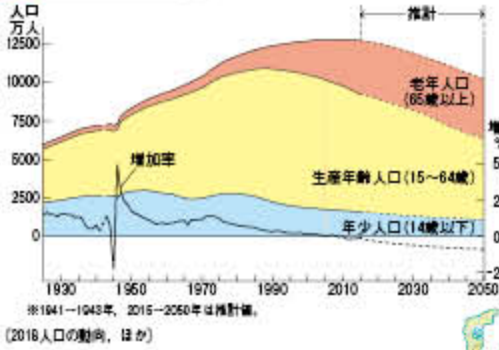
9 2100年のケッペンの気候区分予測



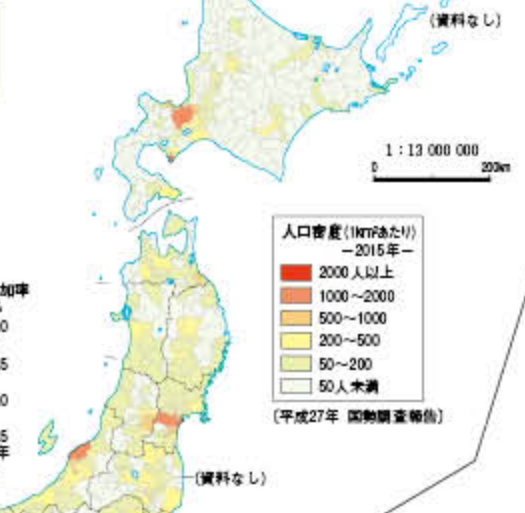
159 日本の資料図 (三)

SDGs 住み続けられるまちづくりを
するために、③・④図から日本の高齢社会の状況を把握しよう。

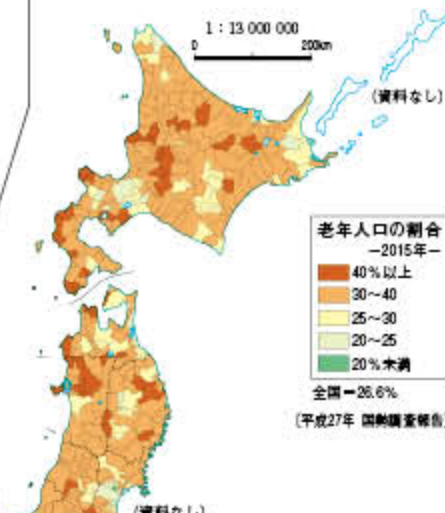
1 総人口の推移



2 市町村別人口密度



3 市町村別老年人口割合



7 注目される新たなエネルギー



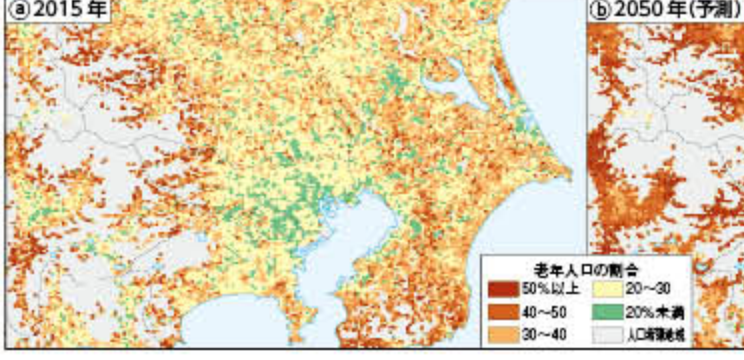
8 おもな発電所の分布



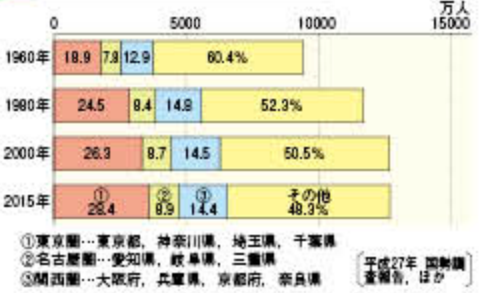
9 各地の工業生産



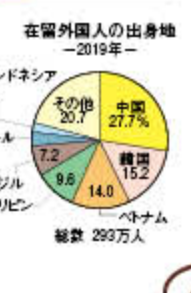
4 メッシュデータで見た東京周辺の老年人口割合とその将来予測



5 都市圏別人口割合の変化



6 在留外国人

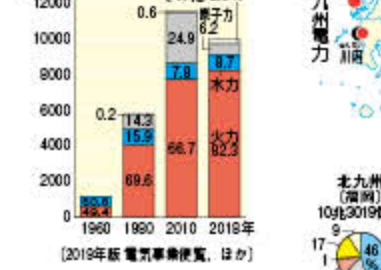


6 在留外国人

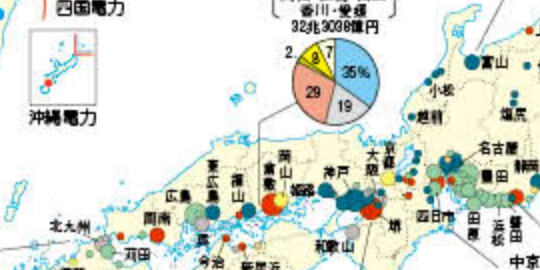


持続可能な国土像を考察する際にポイントとなる高齢化の将来予測を掲載。全国データはQRコードで確認できる。

7 注目される新たなエネルギー



8 おもな発電所の分布



9 各地の工業生産



10 国土開発幹線の整備



11 日本の航空路



原寸大

地図帳 p.161-162

161 GIS

1 地図と地理情報システム

① さまざまな形態の地図

紙地図

- ある縮尺で広い範囲を一度に表示しやすい
- 目的に特化した情報が揃ってまとまっている
- 電子機器の有無を問わず、手軽に閲覧できる

デジタル地図

- 拡大・縮小や方向転換が自由に行える
- つなぎ目のないシームレスな地図を表示でき、表示範囲を自由に動かせる
- 地図が位置情報を保持している
- 地球上のどこにいても現在地を表示できる

GISを利用した表示や分析、情報視覚

- 必要な情報だけを選択して表示できる
- 膨大なデータを迅速で処理し可視化できる
- 情報をリアルタイムに更新できる
- インターネットを通じて社会全体で共有できる

② WebGISを使ってみよう

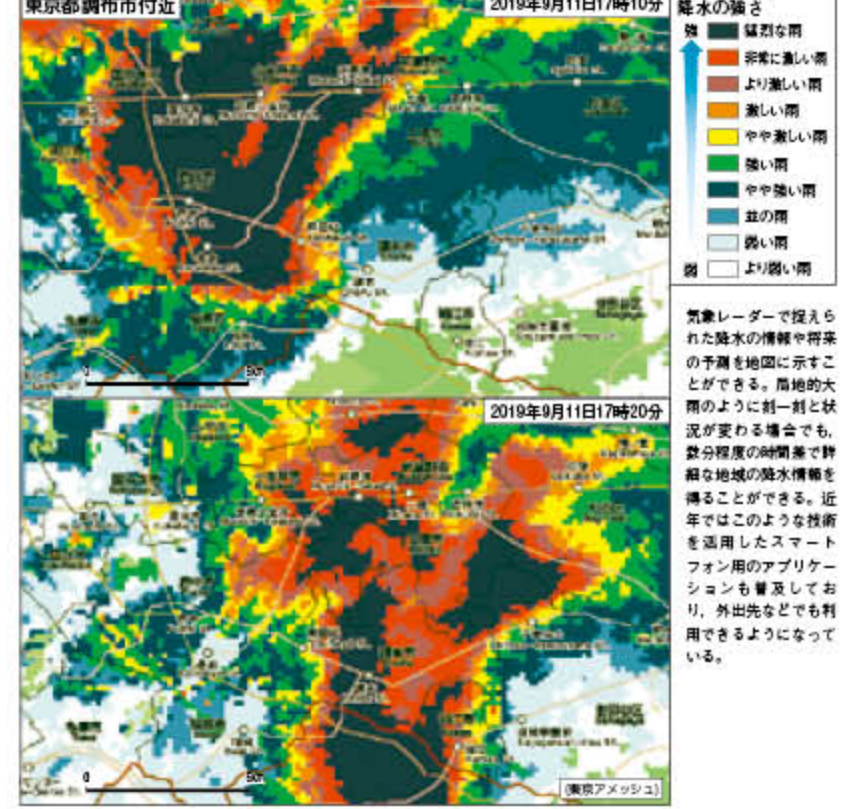
情報通信技術の発達により、地図化できるデータが広く整備・公開されるようになった。これらのデータを地図化することで、数値だけでは見えにくい現象が捉えやすくなる。さらに作成した地図を重ね合わせることで、さまざまな角度から考察することができる。

このような統計データをウェブ上で地図化するGIS (WebGIS) は無料で使用できるものも多く、さまざまな場面で使用されている。

WebGISリンク集

2 身近なGIS

① 気象情報



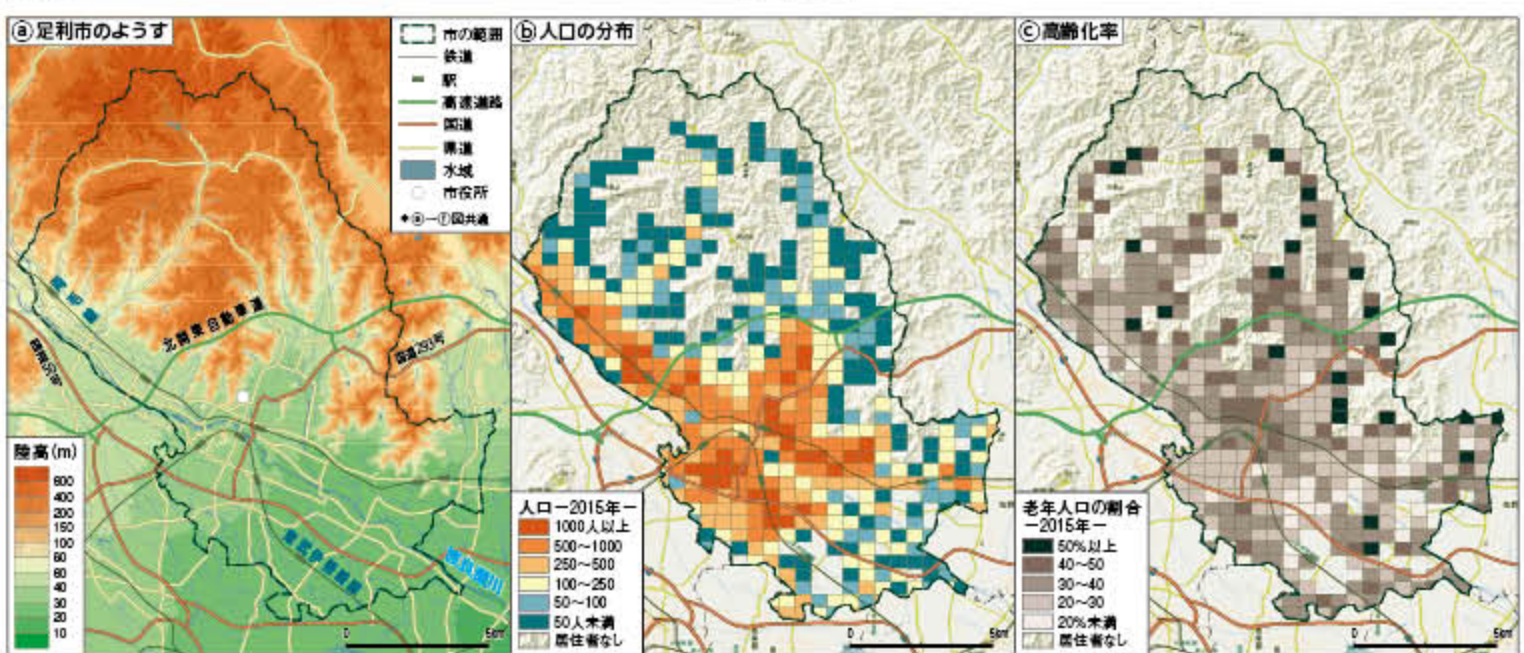
GISの仕組みをイラストで丁寧に解説。

3 GISを利用した分析の仕組みとレイヤー機能—店舗の立地分析の例—



4 GISを活用して生活圏や国土の課題を分析した例—栃木県足利市—

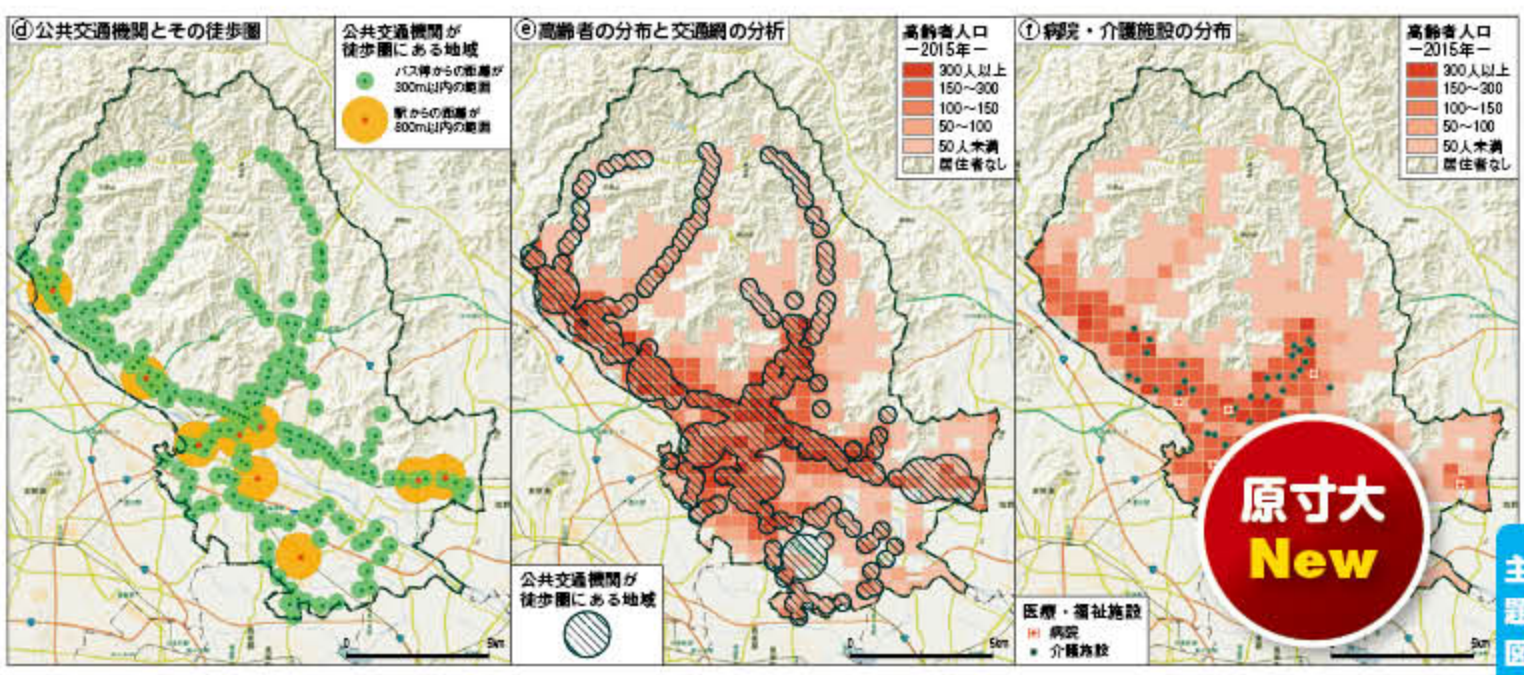
①～④は、平成27年国勢調査報告書及び足利市資料をもとに作成。背景は地理院地図を使用し陰影を透過させた。



人口のメッシュデータ*をもとに作成。
*地域を格子状に分割し、その範囲の居住者の数などを統計として処理したデータ。

① 人口が多く分布している地域を読み取ろう。また②図と比較して人口の分布と交通網や標高の関係を読み取ろう。

③ 高齢化率の高い地域と低い地域の分布の差を読み取ろう。その際②図と比較して、人口分布との関係にも着目しよう。



駅やバス停の位置情報をもとに作成。バス停からは半径300m、駅からは半径800mの円*をそれぞれ生成し、この範囲：徒歩圏と設定した。

④ 図の要素に高齢者人口のメッシュデータを重ねて分析。⑤図の要素に高齢者人口のメッシュデータおよび病院、介護施設の位置情報から作成。

GISで作成した複数の地図を比較することで様々な視点から地域の課題を考察できる。

交通網は十分に整備されていると考えられるか、⑥図から評価してみよう。理由を説明しよう。

探究 バス路線を改定するとしたら、あなたほどのようなルートにするか考えよう。また、①～④の他にどのような資料が路線改定の判断材料になるか考えよう。RESASなどのWebGISや二次元コードのリンク先の内容も参考にしよう。

原寸大 New

● 地域の地形や生活がイメージできる**世界鳥瞰図**

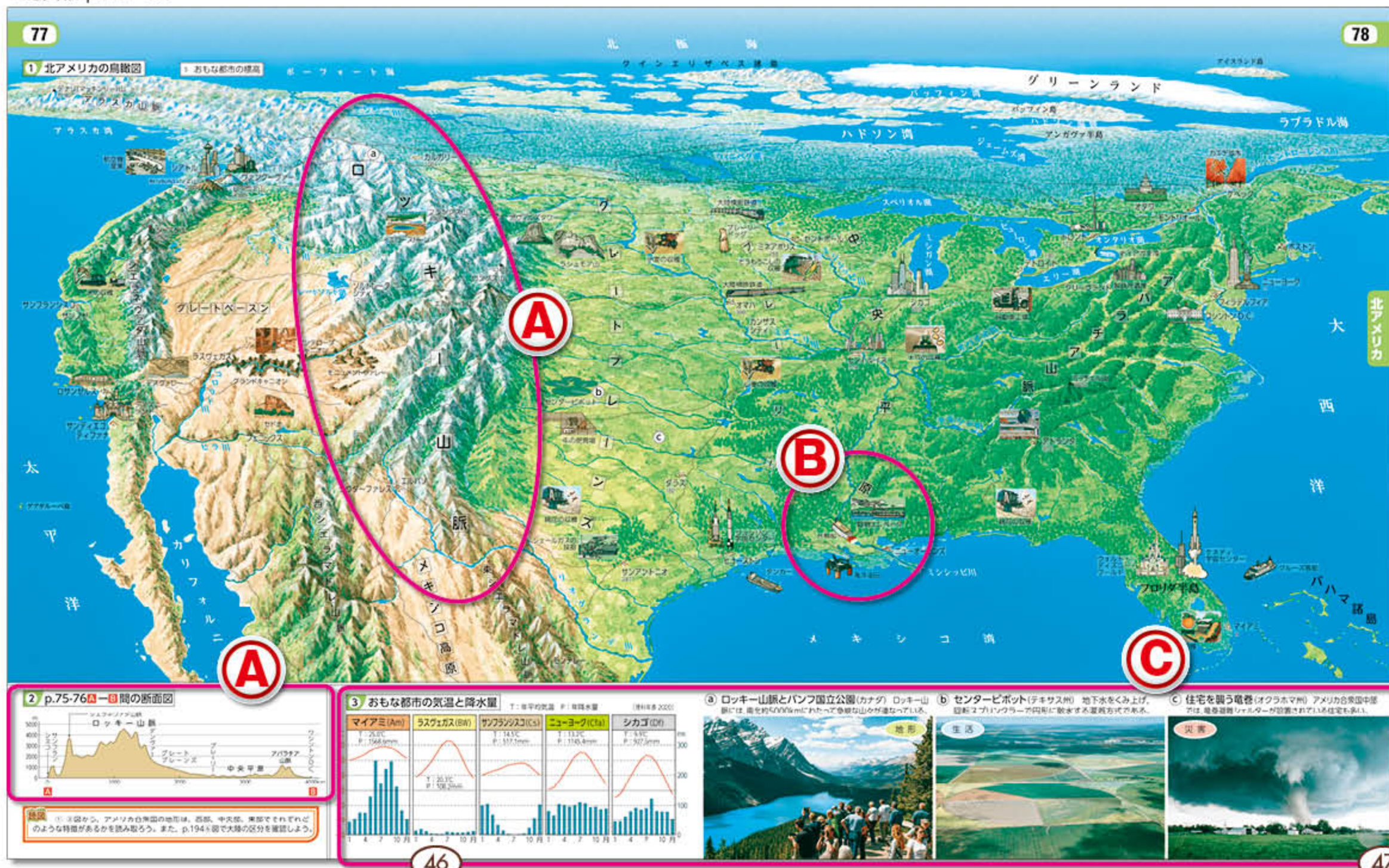
- 鳥瞰表現の立体的な地図にイラストを多数配置した新しい地図表現。
- 断面図や雨温図、写真資料も活用し、地域の特色を概観できる。

● 鳥瞰図一覧

1	p.11-12	中国の鳥瞰図
2	p.47-48	ヨーロッパの鳥瞰図
3	p.77-78	北アメリカの鳥瞰図

原寸大 本冊子 p.48-53

▼地図帳 p.77-78



A 立体表現で地形がわかる

- ▶ 山地の起伏がイメージできる立体表現を採用。急峻な山脈や高地と、なだらかな山地の比較など、地形の差異が確認できる。
- ▶ 断面図も活用して、西高東低な地形など、地域の地形の概要をつかむことができる。

B 地域の姿がイメージできる

- ▶ 地域の農業や工業、名所などのイラストを多数掲載。楽しく地域をイメージできる。
- ▶ 氷雪地や砂漠など、地域の植生がイメージできる表現を採用。気候の違いを把握しやすい。

C 雨温図や写真も掲載

- ▶ 気候の多様性を比較しながら理解できる、各都市の雨温図を掲載。
- ▶ 特徴的な自然の景観写真や農業、災害の写真に掲載。世界の災害と防災の学びにつながる。

新しい地図で学びが広がる！

地図帳 p.11-12

地域の地形や生活がイメージできる **世界鳥瞰図**

11

1 中国の鳥瞰図

55 おもな都市の標高

ウイグル族などの少数民族、莫高窟などの歴史的な名所のイラストで地域をイメージできる。

万里の長城も一望。

西高東低な中国の地形を断面図でも確認できる。

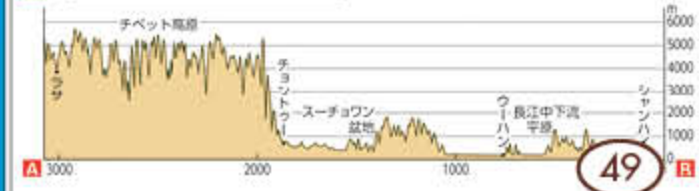
読図 ①・②図から、中国の地形は、西部と東部でそれぞれどのような特徴があるかを読み取ろう。また、東部を南北に分けて地形の特徴を読み取ろう。

12

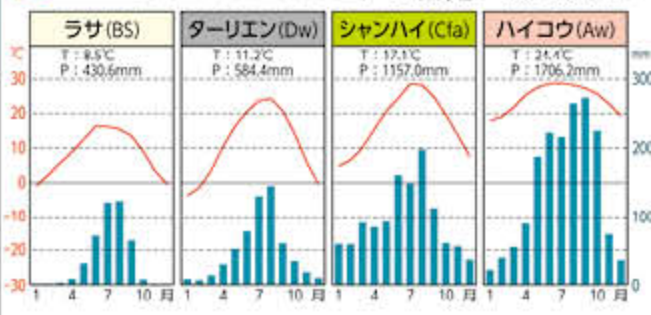
アジア

原寸大 New

2 p.9-10A-B間の断面図



3 おもな都市の気温と降水量



1 ヨーロッパの鳥瞰図

◎ おもな都市の標高

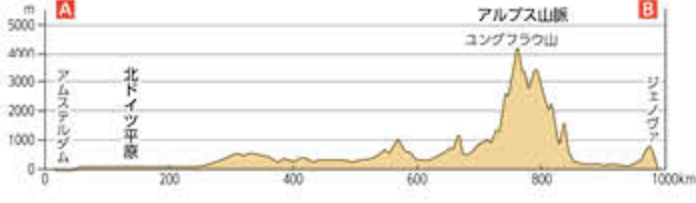


急峻なアルプス山脈やケスタ地形の
パリ盆地が視覚的に捉えやすい。

高緯度の割に温暖な沿岸部、
冷涼な内陸部という比較ができる。

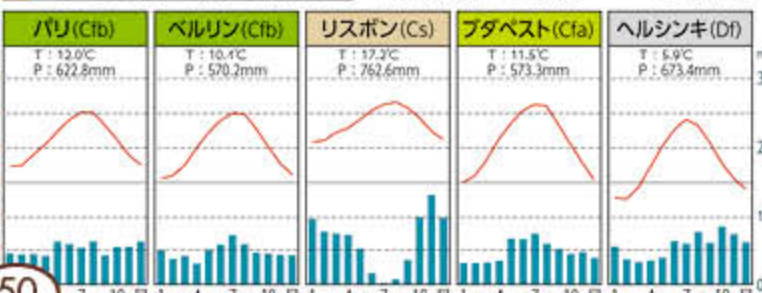
原寸大
New

2 p.45-46 A-B間の断面図



読図 ①・②図から、ヨーロッパの地形は、アルプス山脈とその北側でそれぞれどのような特徴があるかを読み取ろう。また、p.194の図で大陸の区分を確認しよう。

3 おもな都市の気温と降水量



① フィヨルド(ノルウェー) 氷河が削ったU字谷に海水が浸入した、奥深い入り江である。



② ぶどうの収穫(フランス) 水はけのよい丘陵の斜面で栽培されることが多い。おもにワインの原料となる。



③ 高潮で浸水したヴェネツィア(イタリア) 低地のため、低気圧や風などの影響で高潮被害にあいやすい。



1 北アメリカの鳥瞰図

5 おもな都市の標高

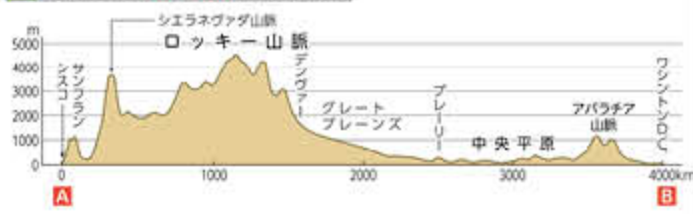


急峻なロッキー山脈となだらかなアパラチア山脈が視覚的に捉えやすい。

グレートプレーンズでのセンターピボット灌漑の様子を、写真と図中イラストでイメージできる。

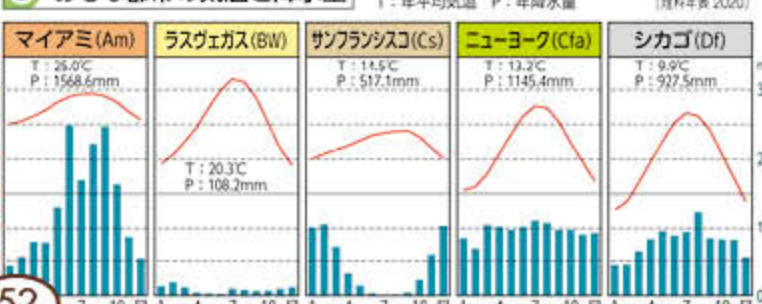
原寸大
New

2 p.75-76 A-B間の断面図



①・②図から、アメリカ合衆国の地形は、西部、中央部、東部でそれぞれどのような特徴があるかを読み取ろう。また、p.194の図で大陸の区分を確認しよう。

3 おもな都市の気温と降水量



① ロッキー山脈とバンフ国立公園 (カナダ) ロッキー山脈には、南北約5000kmにわたって急峻な山々が連なっている。

② センターピボット (テキサス州) 地下水をくみ上げ、回転スプリングラーで円形に散水する灌漑方式である。

③ 住宅を襲う竜巻 (オクラホマ州) アメリカ合衆国中部では、竜巻避難シェルターが設置されている住宅も多い。



● 防災学習にも役立つ**詳細な等高段彩図**

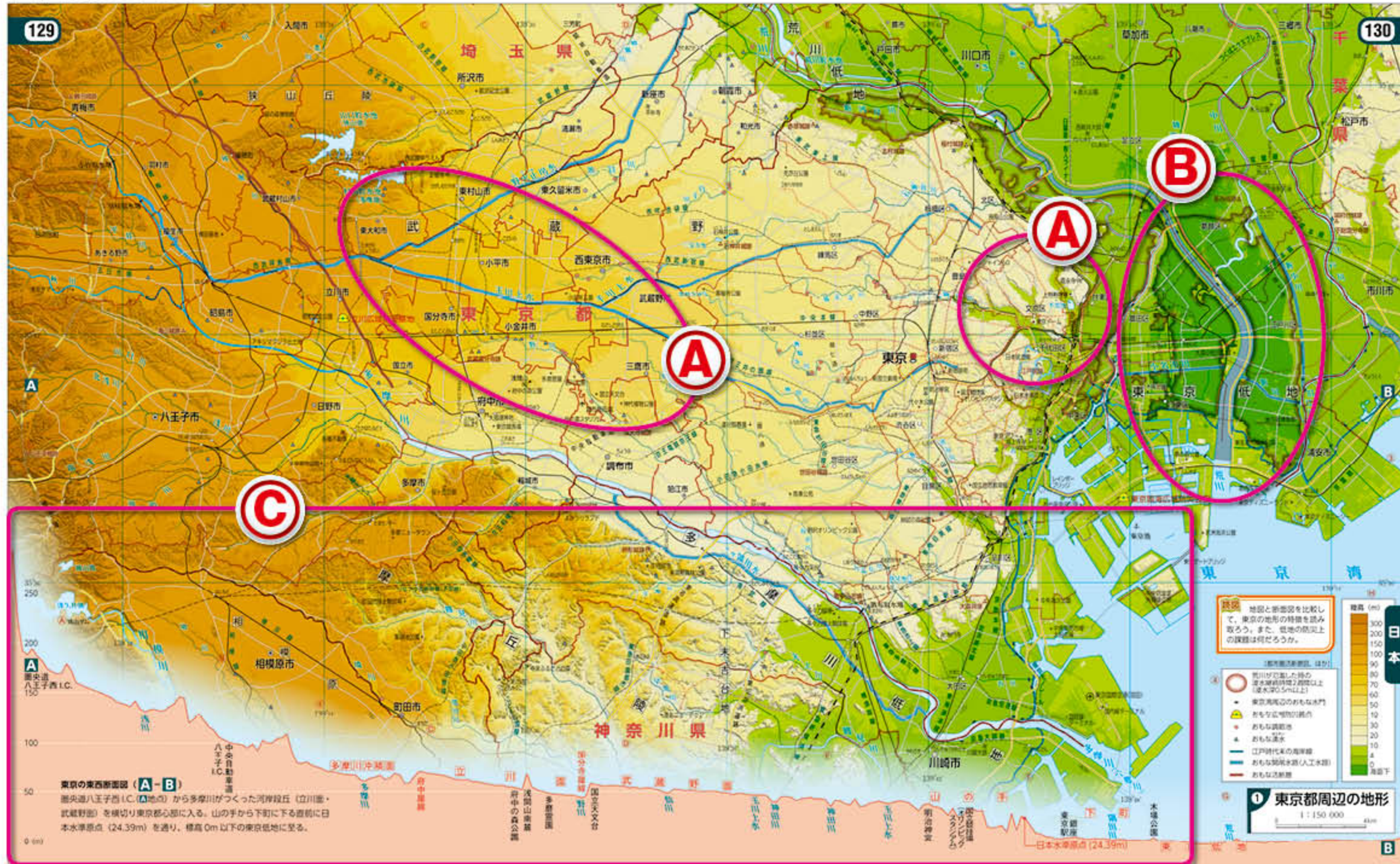
- ・地域の細かな地形の様子が読み取れる地図表現を追求。
- ・地形と関連させて考えたい災害や歴史的要素の情報も掲載。

● 詳細な等高段彩図の一覧

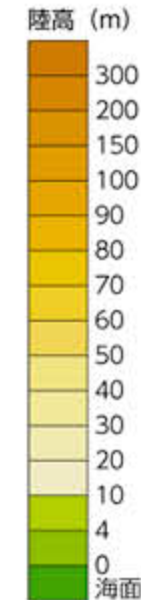
1	p.121-122	大阪湾周辺の地形
2	p.129-130	東京都周辺の地形

原寸大 本冊子 p.56-59

▼地図帳 p.129-130



A 詳細な地形がわかる地図表現



- ▶ 低地と台地、河岸段丘などが視覚的に読み取れるよう、配色を工夫した等高段彩表現の地図を掲載。
 - ▶ この表現により、地形と災害、遺跡の場所と土地の高さの関連などを読み取れる。
- 標高0m以下の濃い緑をはじめ、低地である10m以下を緑系の色、台地から山地にかけてを茶系の色にすることで、低地と台地がはっきりわかる。

B 独自の凡例でさらに深める

- ▶ 活断層や浸水予想区域などの災害、水門や防災拠点など防災に関わる情報を独自の凡例で掲載。地域で起きやすい災害とその対策を考えられる。
- ▶ 江戸時代末の海岸線を掲載。明治期以降の埋立地が一目でわかる。
- ▶ 人工水路や湧水地等の特殊凡例も掲載。人々の暮らしと水の歴史を考察できる。

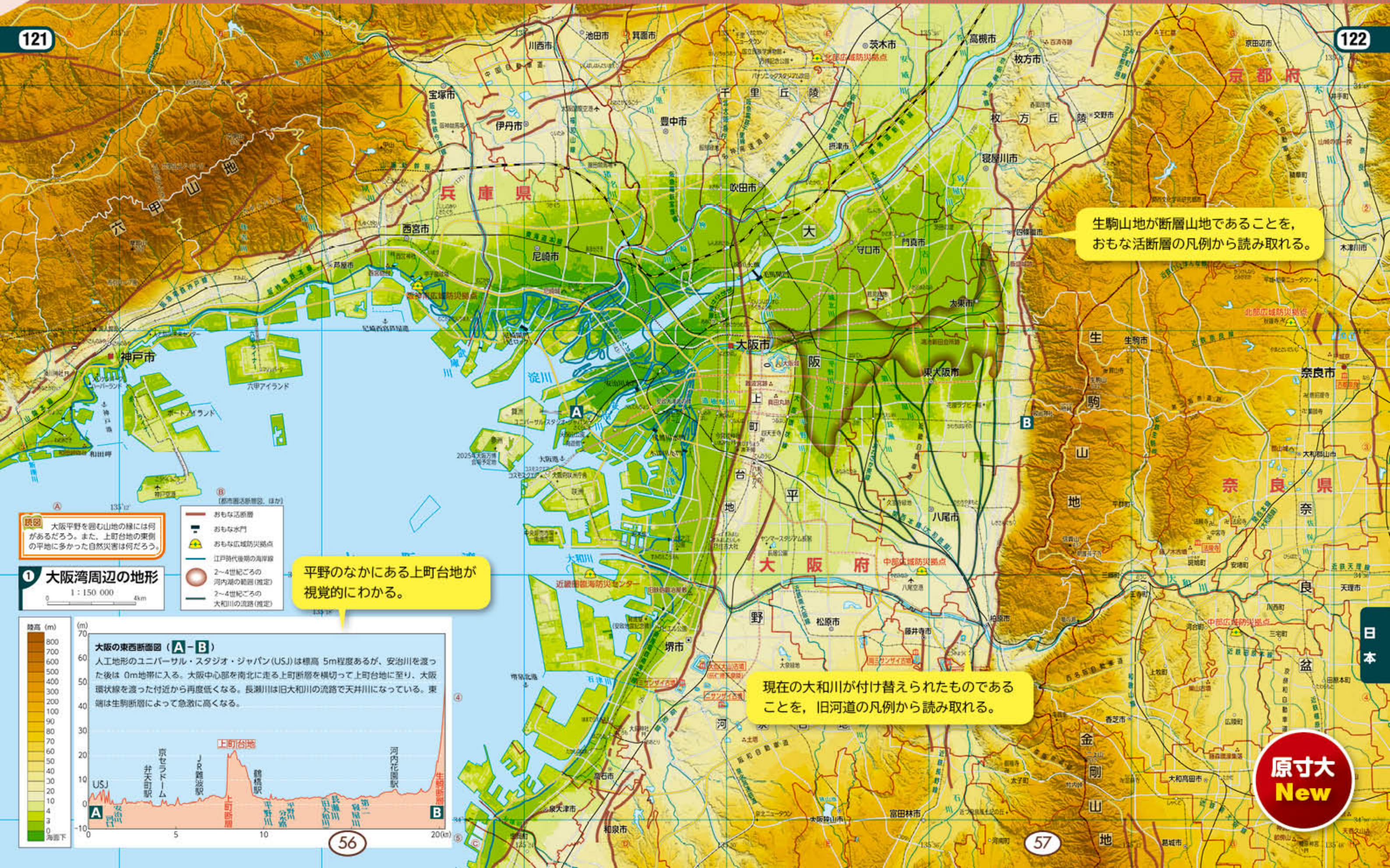
C 地形を大観しやすい断面図

- ▶ 低地と台地の関係、河岸段丘の段丘面などを断面図で確認できる。

地図帳 p.121-122

121

122



生駒山地が断層山地であることを、おもな活断層の凡例から読み取れる。

現在の和歌山川が付け替えられたものであることを、旧河道の凡例から読み取れる。

平野のなかにある上町台地が視覚的にわかる。

読図 大阪平野を囲む山地の縁には何があるだろう。また、上町台地の東側の平地に多かった自然災害は何だろう。

1 大阪湾周辺の地形
1 : 150 000
4km

- おもな活断層
- おもな水門
- ▲ おもな広域防災拠点
- 江戸時代後期の海岸線
- 2~4世紀ごろの河内湖の範囲(推定)
- 2~4世紀ごろの大和川の流路(推定)



原寸大
New

新しい地図で学びが広がる！

地図帳 p.129-130

防災学習にも役立つ
詳細な等高段彩図



129

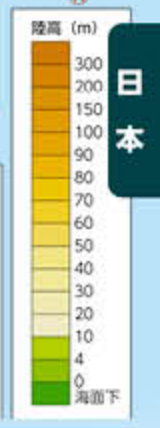
130

東京における海拔0m地帯の分布と水害の危険度が読み取れる。

多摩川の河岸段丘と段丘崖に多い湧水の分布を確認できる。

読図 地図と断面図を比較して、東京の地形の特徴を読み取ろう。また、低地の防災上の課題は何だろうか。

- 荒川が氾濫した時の浸水継続時間2週間以上(浸水深0.5m以上)
- おもな広域防災拠点
- おもな調節池
- おもな湧水
- 江戸時代末の海岸線
- おもな開排水路(人工水路)
- おもな活断層



原寸大 New

東京の東西断面図 (A-B)
圏央道八王子西 I.C. (A地点) から多摩川がつくった河岸段丘(立川面・武蔵野面)を横切り東京都心部に入る。山の手から下町に下る直前に日本水準原点(24.39m)を通り、標高0m以下の東京低地に至る。

1 東京都周辺の地形
1 : 150 000
4km

58

59

B



地図帳内容の理解を助けるデジタルコンテンツ

地図帳p.3「ウェブコンテンツ」や地図帳各ページに掲載しているQRコードを読み取ることでアクセス可能。

* QRコードを読み取り、表示されたウェブサイトへアクセスした際には、通信料がかかる場合があります。
* QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



▲QRコンテンツはこちらから



世界 衛星画像

世界の衛星画像データ

地図帳に掲載されている図取りの衛星画像データを多数掲載。

テーマ
1 アジア
2 アフリカ
3 ヨーロッパ
4 北アメリカ
5 南アメリカ
6 オセアニア

▼「アフリカ」の例



引用 NASA

SDGs SDGsの資料図

SDGs に関わる資料図データ

SDGs に関わるテーマで探究学習を行う際に参考となる資料図の画像データを多数掲載。

テーマ
1 ケッペン気候区分図(2016年)
2 ケッペン気候区分図(2100年)
3 二酸化炭素の排出
4 水資源
5 水の安全性
6 人口増加率
7 合計特殊出生率
8 老年人口割合
9 平均寿命



世界をながめてみよう

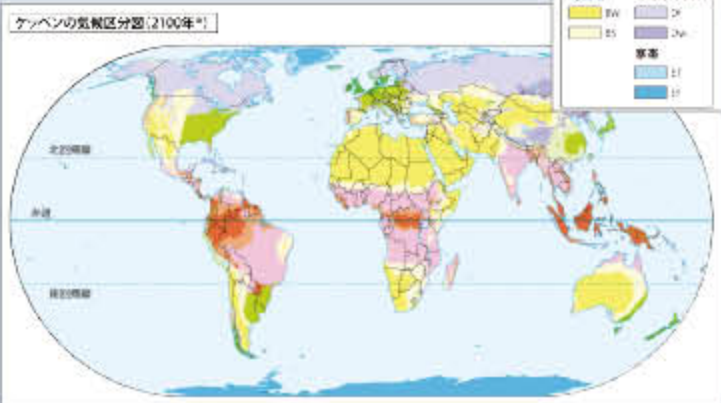
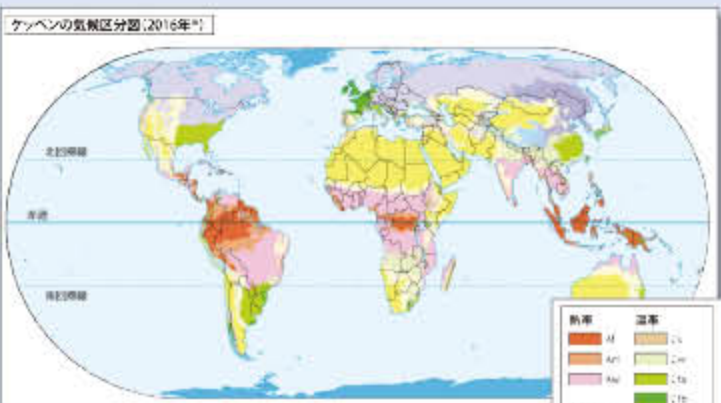
世界鳥瞰図画像データ

地図帳に掲載されている世界鳥瞰図から、文字やイラストを外し、地形がダイナミックに読み取れる画像データを掲載。



▲「北アメリカの鳥瞰図」の例

テーマ
1 中国の鳥瞰図
2 ヨーロッパの鳥瞰図
3 北アメリカの鳥瞰図



▲「ケッペン気候区分図」の2図比較の例



日本地図・衛星画像

日本の地図画像データ

日本の7地方と日本とそのまわりの地図画像データを掲載。



テーマ
地方別地図
1 九州地方
2 中国・四国地方
3 近畿地方
4 中部地方
5 関東地方
6 東北地方
7 北海道地方
衛星画像
8 日本とそのまわり

◀「関東地方」の例



日本の基礎資料図

日本の資料図画像データ

様々な観点での日本全図資料図画像データを掲載。



テーマ
1 自然
2 降水量(1月)
3 降水量(8月)
4 農業
5 工業・交通
6 人口分布
7 人口密度
8 老年人口(2015年)
9 老年人口(2050年)

◀「降水量(1月)」の例

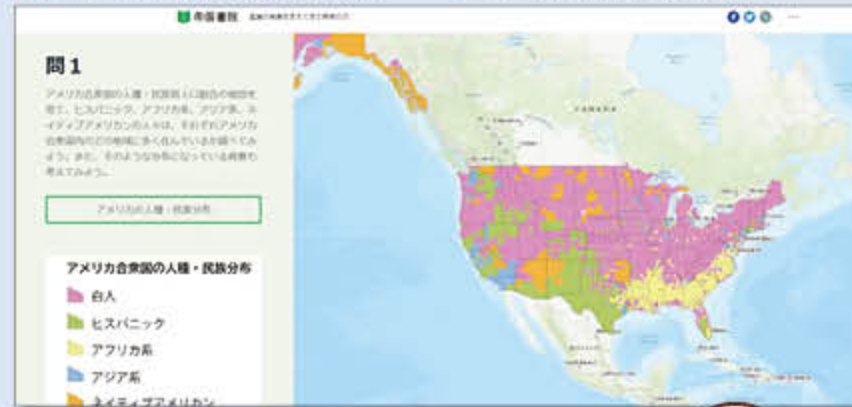


Web GIS リンク集

Web GIS へのリンク集

「地理院地図」をはじめ、地理総合のGISの学習に役立つ様々なWebGISへのリンクを掲載。特に、帝国書院オリジナルの「アクセスWebGIS」は、地理学習にそのまま使えるGISデータを多数掲載。

▶▶「アクセスWebGIS」の例



「アクセスWebGIS」のテーマ

地図と地理情報システム

- デジタル地図と地球儀
 - 地理情報システムの活用
 - さまざまな統計データ
- 生活文化の多様性と国際理解
- アフリカ-産業-
 - アメリカ合衆国-農業-
 - アメリカ合衆国-移民-
 - ヨーロッパ-EU統合-

自然環境と防災

- 火山地形
- 扇状地
- 河岸段丘と氾濫原



統計資料

日本・世界の統計サイト

面積・人口、農業・漁業・林業、鉱工業、貿易などの統計を計161種掲載。円グラフや統計地図で表現することも可能。毎年、最新の統計に更新予定。



地図投影法

様々な図法の画像データ

地図帳 p.163 で紹介している図法(地図投影法)の地図画像を14図法掲載。



▲「ホモロサイン(グード)図法」の例

指導資料・関連教材のご案内

ご指導を支援する地図帳関連教材が充実。

* 下記の内容は一部変更となる可能性があります。

1 指導資料 定価 17,600 円 (税込)

書名	内容
新詳高等地図 指導資料	<p>①指導と研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳各見開きの縮刷版のまわりに地名の解説や「読図」の解説などを配置し、1冊で地図帳を活用した学習の要点がおさえられる。 <p>②白地図ワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を用いた基礎的な白地図作業のワークシート集。Web サポートに PDF ファイルも収録。 <p>③ Web サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『新詳高等地図』『標準高等地図』『地歴高等地図 (旧課程版)』3書目分の紙面 (.pdf) ・白地図ワーク (.pdf) ・アクセス WebGIS ワークシート (.pdf) ・GIS 主題図クリエーター体験版 (半年間無料) クーポン付き <p>④ Web サポート紹介冊子</p>

2 学習者用デジタル教科書 アプリ版 定価 1,870 円 (税込) / クラウド配信版 定価 2,200 円 (税込)

書名	内容
学習者用デジタル教科書	<p>①地図帳紙面 (紙の地図帳と同じ内容)</p> <p>②拡大・縮小, 書き消し, 保存機能</p>

3 地図帳・教科書



▼ 『新詳高等地図』の全体構成

項目	おもな内容	ページ	本冊子での掲載ページ
アジア	世界の国々	1-2	
	もくじ, 凡例, 交通	3-4	
	アジア・ヨーロッパ・北アメリカ	New 5-6	
	ユーラシア	New 7-8	
	東アジア	9-10	
	中国の鳥瞰図	New 11-12	48-49
	中国要部	13-14	
	ペキン, シャンハイ	15-16	
	中国資料図	17-18	30-31
	チュー川デルタ, 台湾	19	
	Focus 中国	New 20	
	朝鮮半島	21-22	
	東南アジア	23-24	
	東南アジア要部	25-26	
	東南アジア資料図	27-28	
	Focus 東南アジア	New 29	
	Focus インド	New 30	
南アジア	31-32		
インド要部, インド南部・スリランカ	33-34	20-21	
西アジア, イスラエル・パレスチナ	35-36		
中東要部	37-38		
アフリカ	アフリカ	New 39-40	
	アフリカ北部	41-42	22-23
	アフリカ南部, アフリカ資料図	New 43-44	
ヨーロッパ	ヨーロッパ	45-46	8-9
	ヨーロッパの鳥瞰図	New 47-48	50-51
	ヨーロッパ中央部	49-50	10-11
	EU 要部	51-52	12-13
	地中海地方	53-54	
	イベリア半島, スイス	55-56	
	イタリア半島・バルカン半島	57-58	
	イギリス・アイルランド, スカンディナヴィア半島	59-60	
	ロンドン, パリ, ベルリン, 資料図	61-62	
	ヨーロッパ資料図	63-64	14-15
	Focus ヨーロッパ	New 65-66	16-17
	ユーラシア北部	67-68	
	東ヨーロッパ・ロシア連邦要部	69-70	
ロシア・ロシア周辺諸国資料図	71-72		
北アメリカ	北アメリカ	73-74	
	アメリカ合衆国	75-76	
	北アメリカの鳥瞰図	New 77-78	52-53
	アメリカ合衆国中央部・東部	79-80	
	アメリカ合衆国北東部	81-82	
	アメリカ合衆国西部	83	
	北アメリカ資料図	84-86	
	Focus アメリカ合衆国	New 87-88	34-35
	中央アメリカ	89-90	

* **New**が入っているページは、令和4年度以降版からの新規ページです。

項目	おもな内容	ページ	本冊子での掲載ページ	
南アメリカ	南アメリカ	91-92		
	南アメリカ要部	New 93-94	24-25	
	南アメリカ資料図	New 95		
オセアニア	南北アメリカ・大西洋	96		
	オーストラリア・ニュージーランド	97-98		
	オーストラリア要部	99		
太平洋	オセアニア資料図	100		
	太平洋	101-102		
	太平洋の島々	103		
	北極, 南極	104		
	日本	日本の位置とまわりの国々	105-106	
		日本列島	107-110	
		九州地方	111-112	
		中国地方	113-114	
		四国地方	115-116	
		近畿地方	117-118	
京阪神, 大阪市, 名古屋市		119-120		
大阪湾周辺の地形		New 121-122	56-57	
中部地方		123-124		
関東地方		125-126		
東京周辺, 東京		127-128		
東京都周辺の地形		New 129-130	58-59	
東北地方		131-132		
北海道地方		133-134		
北海道地方要部		135-136		
主題図		地形	137-140	
		気候	141-144	
	環境問題	145-146	38-39	
	農業・林業・水産業	147-148		
	資源・エネルギー・鉱工業・貿易	149-150		
	人口・食料問題	151-152		
	言語・宗教・難民	153-154		
	日本の資料図 (地形・気候)	New 155-156		
	日本の資料図 (自然災害・防災)	New 157-158	40-41	
	日本の資料図 (人口・産業)	159-160	42-43	
さくいん	GIS	New 161-162	44-45	
	地図投影法, 地図にみる世界	163-164		
	世界の統計	165-174		
	日本の統計	175-176		
主題図	さくいん	177-191		
	観光・通信	New 192		
主題図	世界の地形	193-194		

特色一覧

*下記の表は、帝国書院ウェブサイトで開催・ダウンロードできます。

項目	特色
総合的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ◆世界・日本の諸地域を多面的・多角的な視点で把握できるよう、一般図(基本図・拡大図)や資料図を中心に、鳥瞰図や都市圏拡大図など様々な表現の地図が掲載されている。 ◆世界や地域の諸課題の解決に向けて主体的に考えられるよう、背景や影響に関して考察できる地図や資料が多数掲載され、それらを読み取るポイントを問いの形で示した「読図」コーナーも各所に設けられている。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●一般図、都市図、資料図が豊富に掲載されており、系統地理、地誌、GISなどの様々な学習に対応できるよう編集されている。 ●基礎的・基本的な地図・資料に加え、現代社会の現状を理解するのに必要な拡大図が豊富に掲載されているため、世界・日本の諸地域に関する幅広い知識と教養が身に付く。 ●AB判のフイダな誌面を生かし、地域間の結び付きが読み取りやすい図取りの一般図が多数掲載されている。 ●資料性の高い資料が豊富に掲載されており、歴史や民族、農業や工業などの産業、人々の暮らしの様子が理解できる。また、同縮尺の資料図が多数配置され、地理的な見方・考え方を働かせながら新旧の変化や因果関係の考察ができるようになっている。 ●自然災害と防災、GIS、地球的課題など、地理総合の学習で重視されるテーマに関するも、東京都周辺や大阪湾周辺の地形がわかる表現の地図を加えたり、テーマ資料のページを充実させたりしている。 ●日本の領土とその広がり正しく学べる地図・資料が掲載されている。
構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●基本図、資料図、統計資料の各ページにおいて、世界や各地の特色や課題を捉えられるよう、工夫がなされている。 ●地理歴史科・公民科の学習に必要な一般図(基本図・拡大図)・資料図・統計資料がバランスよく掲載されている。また、世界地図が充実しており、日本地図、資料図、統計資料の各ページにおいて、国や地域がバランスよく取り上げられている。 ●特集ページ(Focus)を設け、世界各地の地域的な特色や課題を把握し、地図や資料を分析しながらその背景や影響について主体的に考察できるようにしている。 ●世界史や日本史の授業で扱われる「史跡・歴史的に重要な地名」や「古戦場跡」が一般図に記載されたり、公共などの公民科でも扱われるSDGsに関する資料も掲載されたりするなど、地理的分野以外の活用にも配慮されている。
表記・表現 及び 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な地図表現が適宜、効果的に用いられ、必要な情報が読み取りやすくなっている。 ●様々な図法や地図表現が効果的に用いられている。基本図は、標高で配色する等高線彩表現で統一されている。拡大図は、土地利用や植生がわかる地図表現が導入されたり、都市別の工業の様子がわかる工業記号が掲載されたりするなど、人々の生活や産業の様子が読み取れるようになっている。 ●中国・ヨーロッパ・北アメリカの3地域には鳥瞰図を掲載し、地域の姿をより具体的・視覚的に捉えられるようになっている。 ●作業を伴う具体的な問いのコーナー「読図」が各所に設けられており、地理的な見方・考え方を働かせながら地図を読み取り、考察できるようになっている。 ●基本図や拡大図によって掲載情報に軽量が付けられ、重要な地名が読み取りやすいように工夫されている。また、世界地図ページでは位置図が設けられ、当該地図における地球上の位置が確認しやすくなっている。 ●さくいんは、文字が大きくなっているなど、地名が探しやすいうように配慮している。 ●世界の地図には、国名や都市名、自然地域名称に欧文が並記されている。
ユニバーサル デザインへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ●世界の国名や日本の都道府県名は、黒色で縁取りしたり、ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用したりするなど、判読しやすいよう工夫されている。 ●色覚に特性をもつ生徒でも色を判別して地図が読めるように色彩表現が工夫されている。判別しにくい色彩が隣り合う場合には、凡例に模様(地紋)が入られるなど、カラーユニバーサルデザインに配慮している。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●読み取りやすい地図にするため、緑の発色がよいクサ色などの特殊インキを加えた5色で印刷されている。 ●統計ページもフルカラーで印刷され、資料が読み取りやすくなっている。 ●紙は反射を抑えつつ鮮明に発色し、裏写りしない軽量のものが使用されているため、地図が美しく鮮明に表現されている。 ●長期の使用に耐えうるよう、糸がかりしたうえで糊付けされた堅牢な製本になっている。 ●環境に配慮された用紙と植物油インキが使用されている。

著作者

荒井 良雄 (東京大学 名誉教授)

◆人文地理学

茅根 創 (東京大学 教授)

◆地球環境、サンゴ礁、海洋

日下 博幸 (筑波大学 教授)

◆気候学

鈴木 厚志 (立正大学 教授)

◆地理情報科学、地図学

藤井 正 (鳥取大学 名誉教授)

◆都市地理学

株式会社帝国書院

編集協力者

根元 一幸 (神奈川大学 特任准教授)

◆地理教育、エネルギー問題

地図帳は、文部科学省検定済教科書です。

**地図帳は、科目を問わず
ご使用いただけます！**



 帝国書院

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29

TEL 03-3262-4795(代)

URL <https://www.teikokushoin.co.jp/>

▲帝国書院特設ウェブサイトはこちらから

©Teikoku-Shoin Co.,Ltd.2024